



女体化したナオくんは
母乳で魔王様と戦う
戦士なのだ！



俺は
ヤマグチ・ナオ
15才

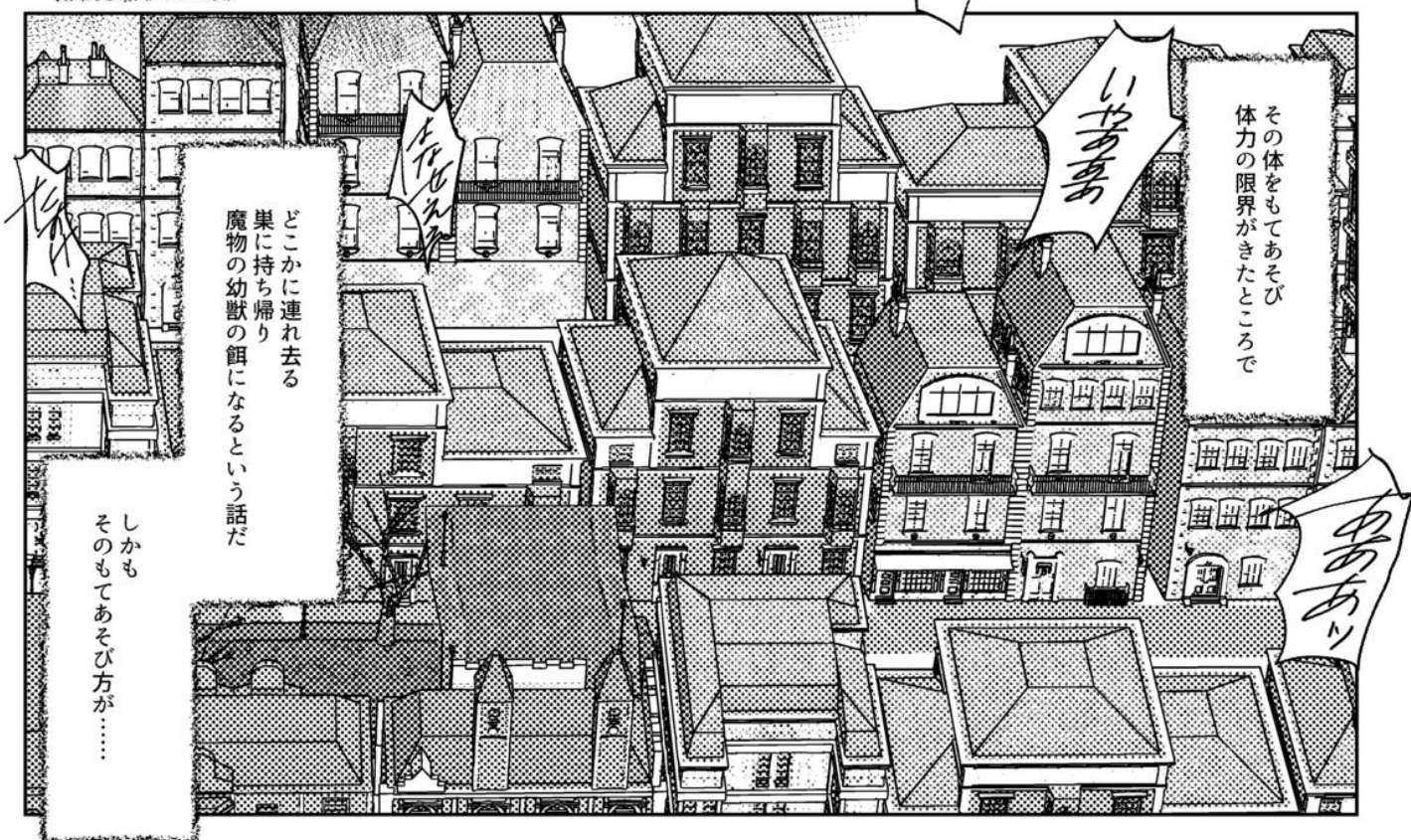
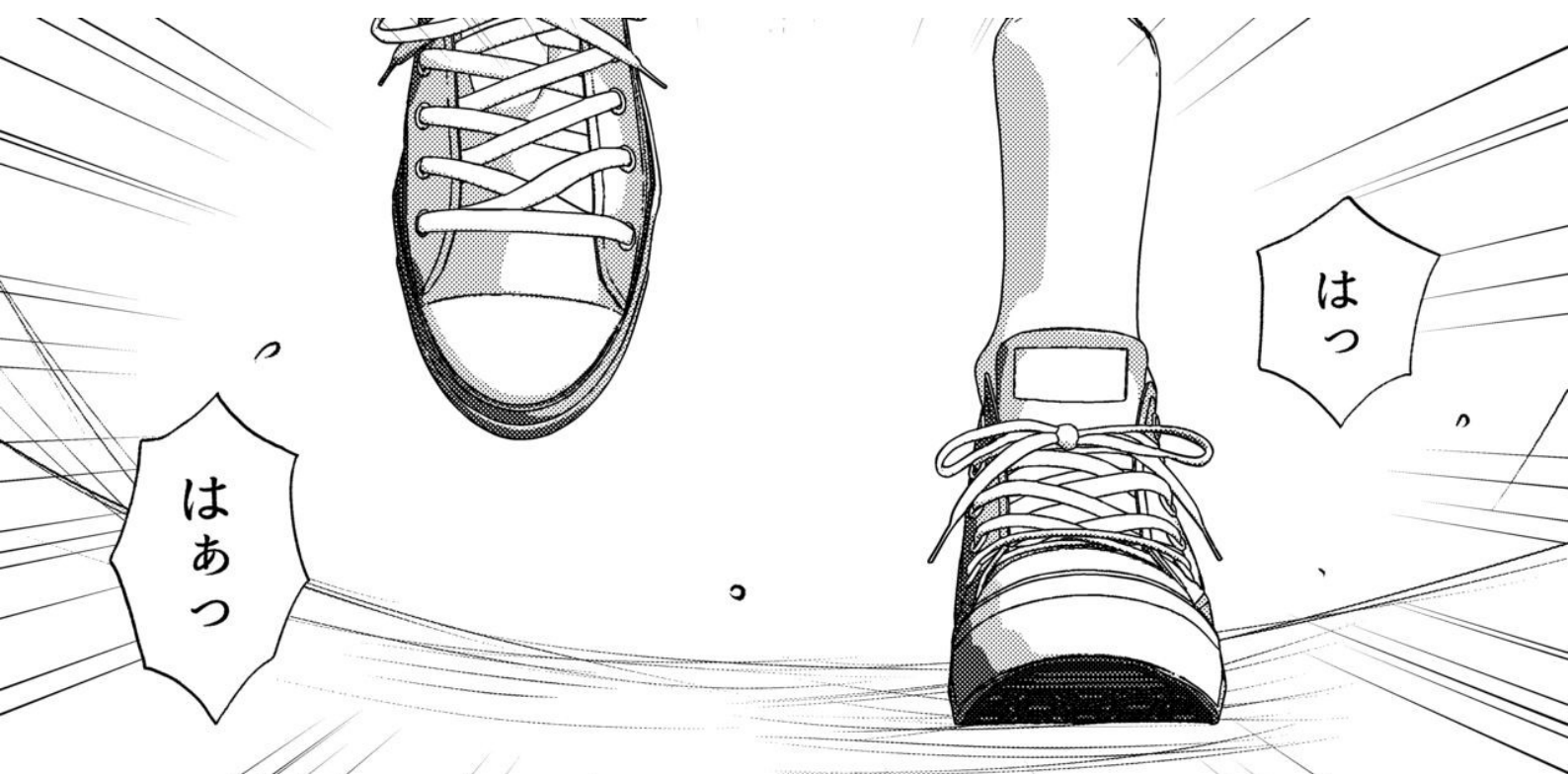
○学校での
成績は上々

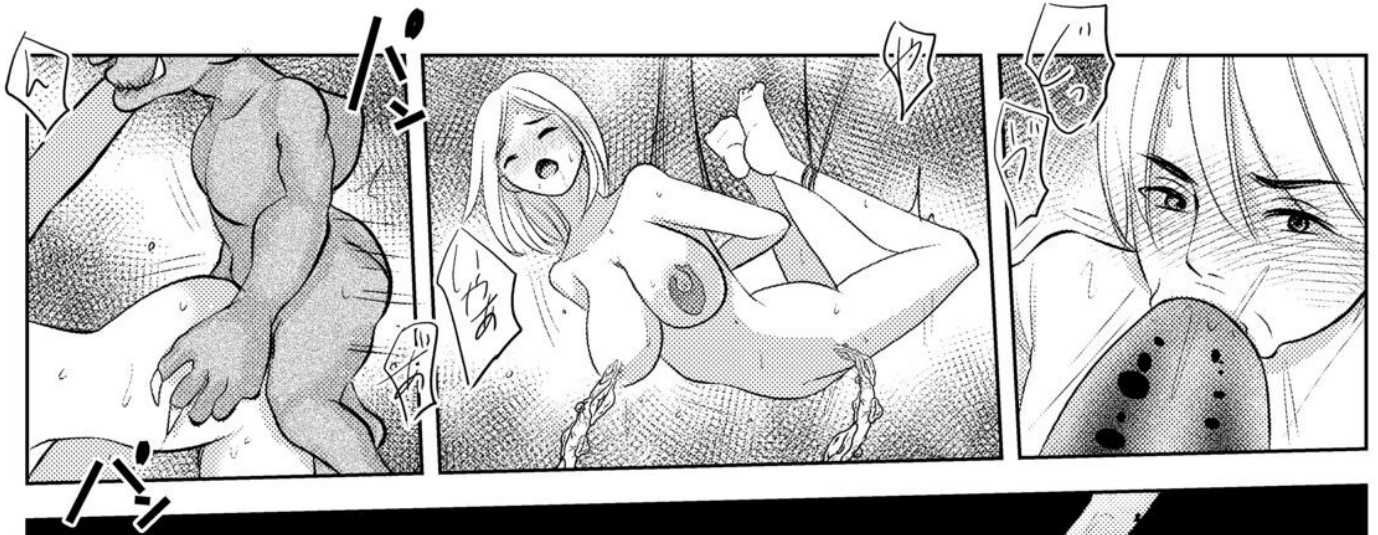
もちろん
可愛い彼女
もいる

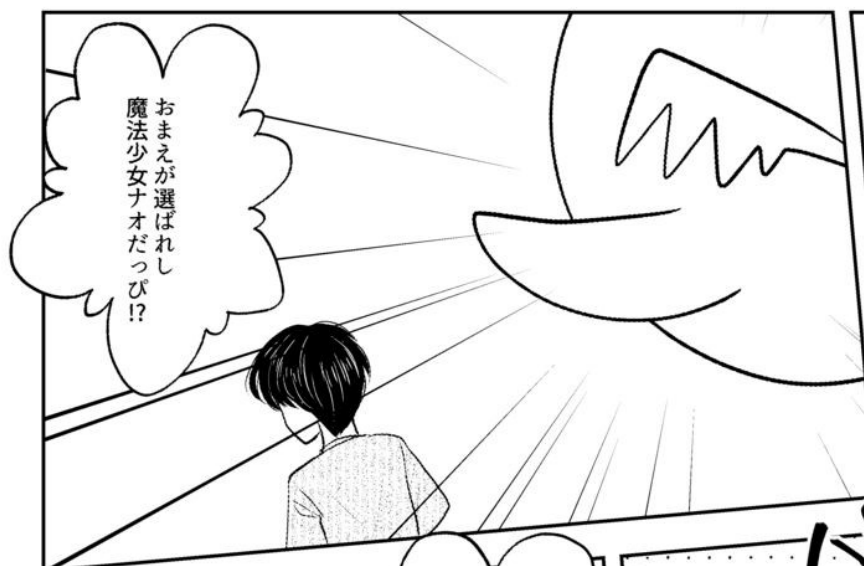
自分で言うのも
なんだけど
順風満帆な人生を
歩んでるよな！

そんなある日
俺の住む
ウツボカズラシティに
魔物が現れた！

テニス部
キャプテンを
任されるほど







おまえが選ばれし
魔法少女ナオだっび!?

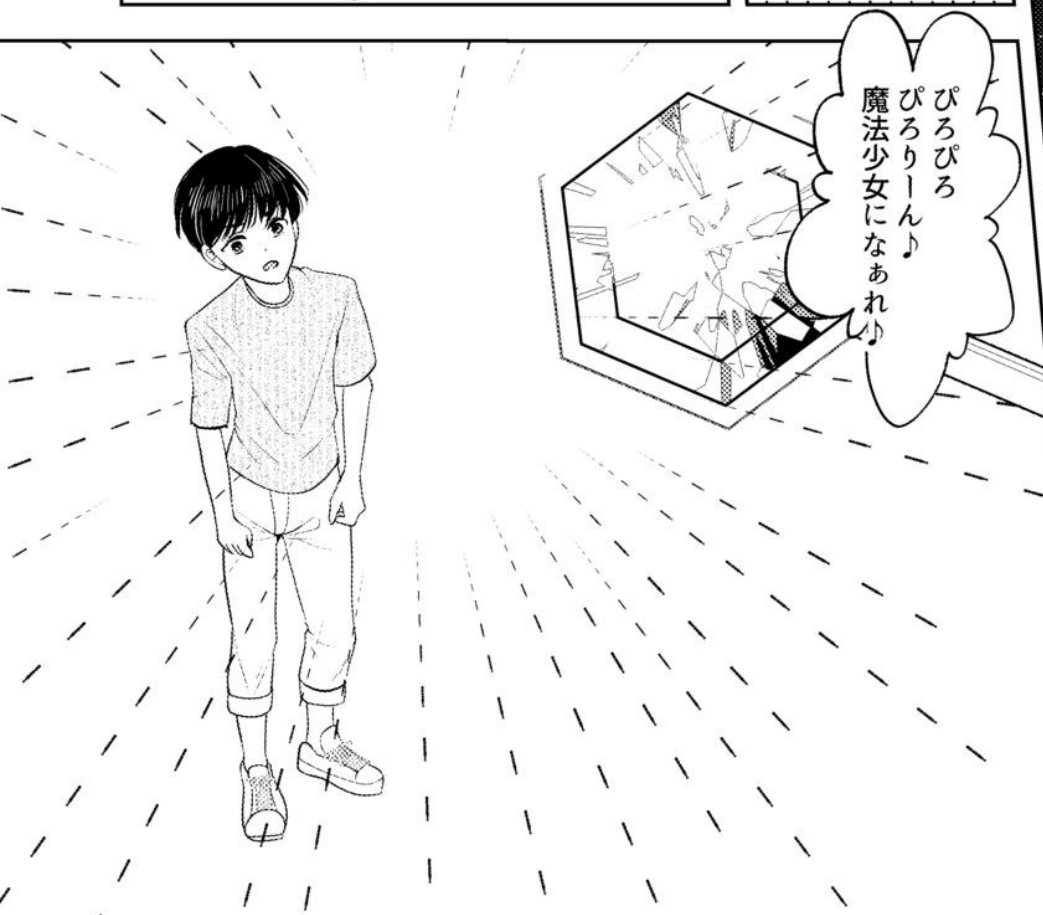


説明はあとだっび!
ナオ、お前はここの町を
救いたいっかっび!?

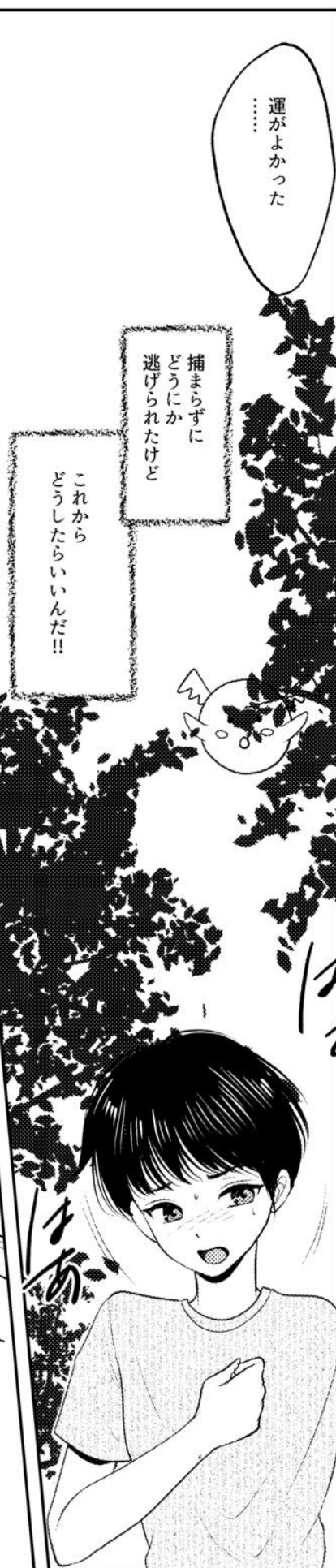
あ、もちろん……
でもどうやって



なんだお前



ぴろぴろ
ぴろりん♪
魔法少女になあれ!



運がよかった
……

捕まらずに
どうにか
逃げられたけど

これから
どうしたらいいんだ!!

はあ



えええ!?

な、なんだこれーっ

なんで俺が
スカートなんか
はかなきゃ
なんねーんだよっ

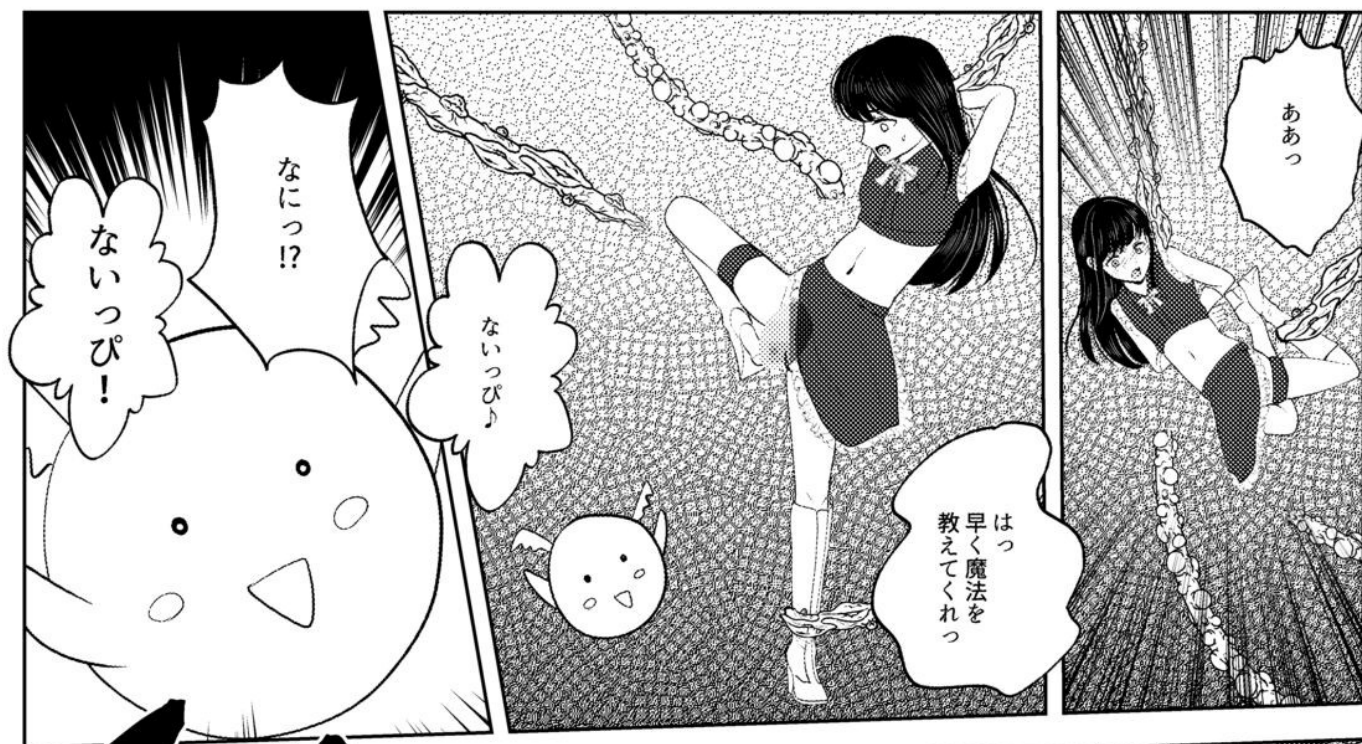
魔法少女だから
だっぴ♪

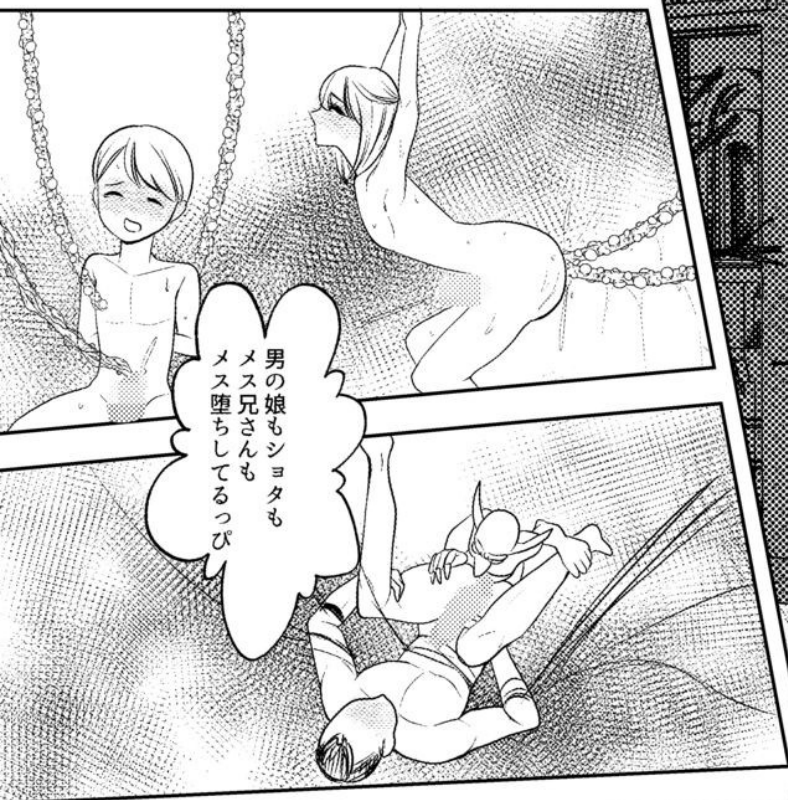
ちよ……っ
もとの服返せっ

あっ!?

髪も
伸びてる……!?

そんなこと
言ってる場合かっぴ?





男の娘もシヨタも
メス兄さんも
メス堕ちしてらっぴ

そんなこと
ないっぴ

見てみるっぴ



くくそう……

どうすれば
この町を
救えるんだ!?

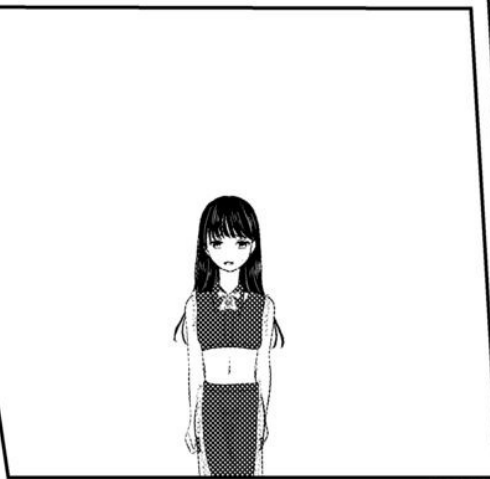
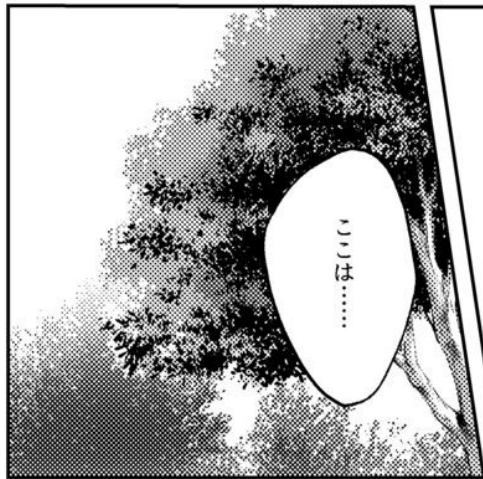
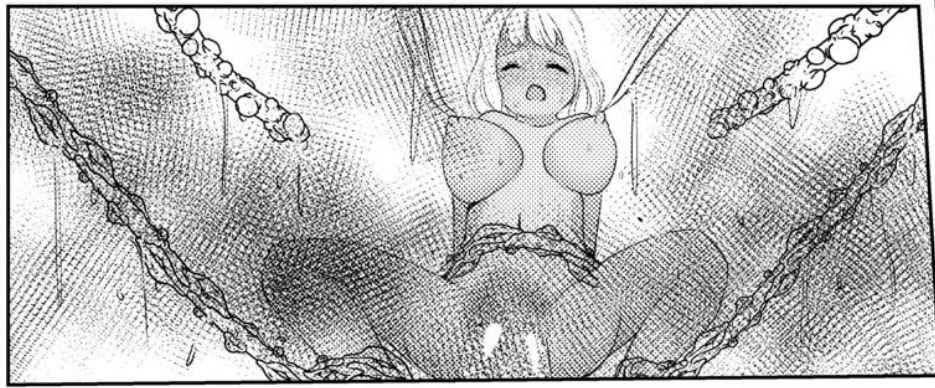


どこかに
親玉の大魔王が
いるはずっぴ

それをさがすっぴ



戦うんだっぴ!



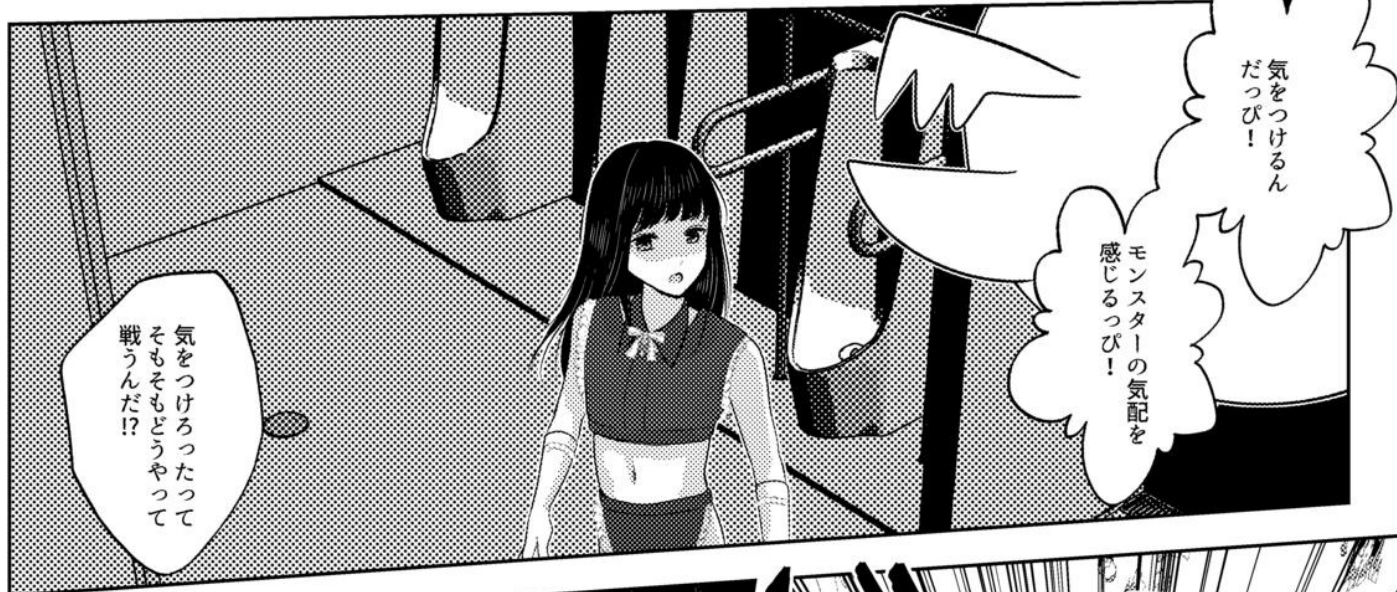
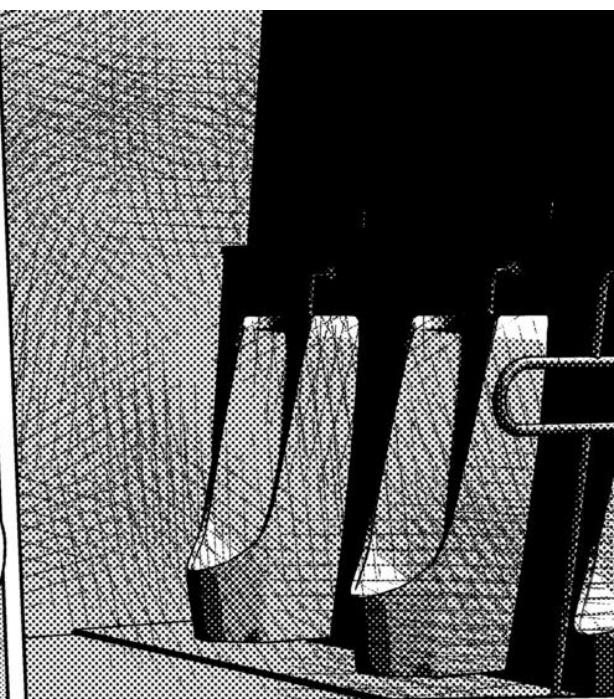
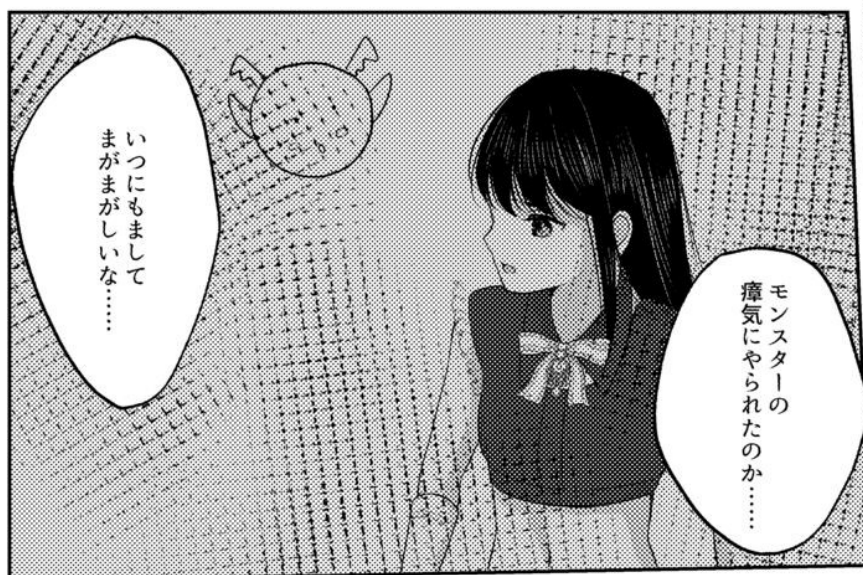
くそっ
町中いたるところに魔物
がはびこっている

どこに大魔王
がいるかわからない……

は……

人がめったに
寄り付かない公衆トイレ……

心霊現象が起きるって
都市伝説があるんだよね





なんだ……
何もないのに

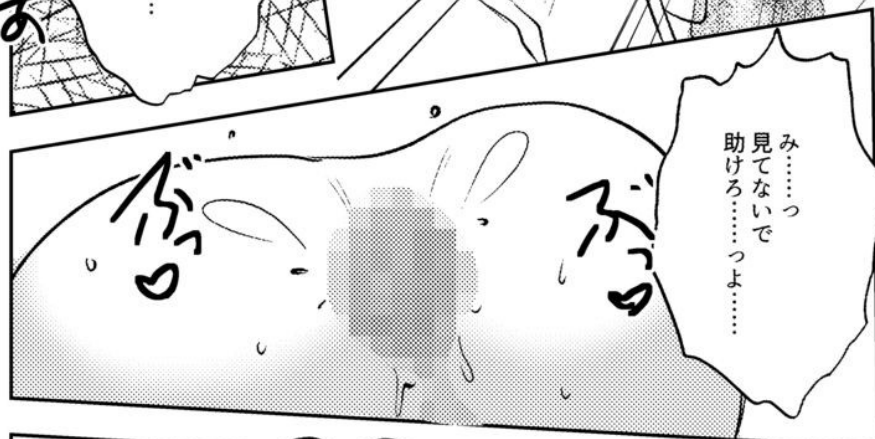
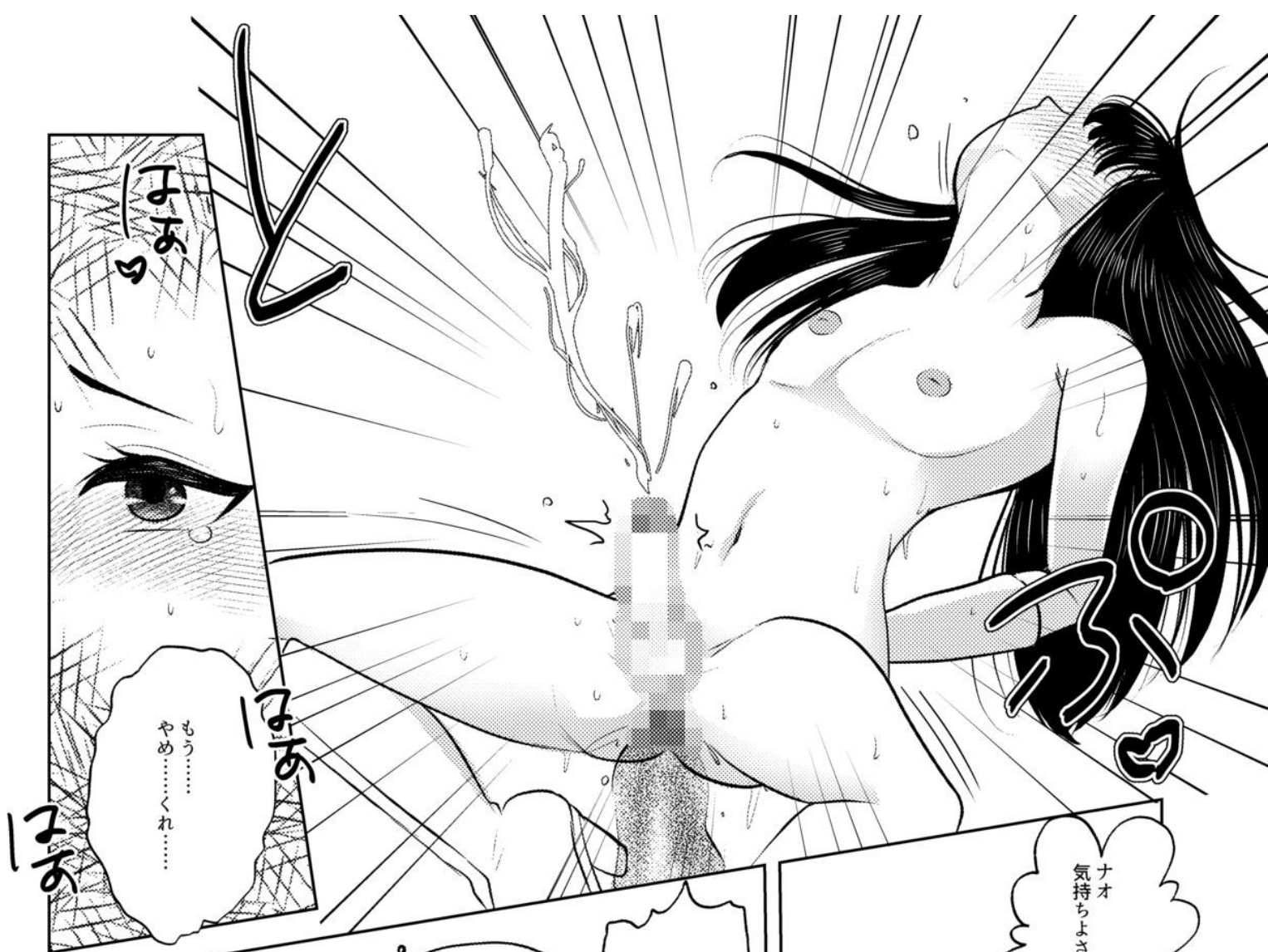
誰かに
触れられている
感覚がある……!

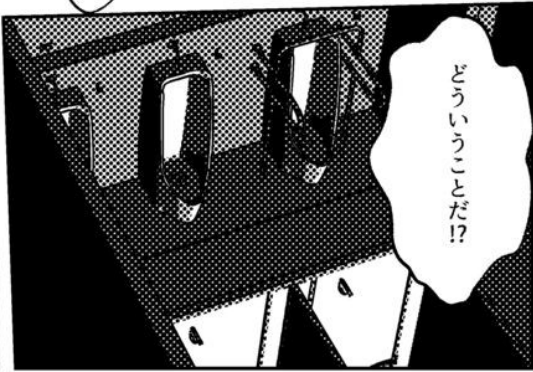
ズッ

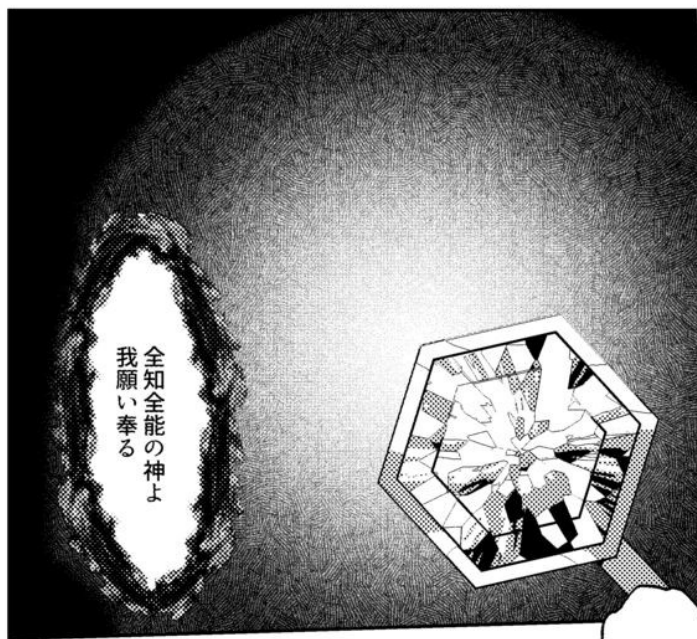
ズッ

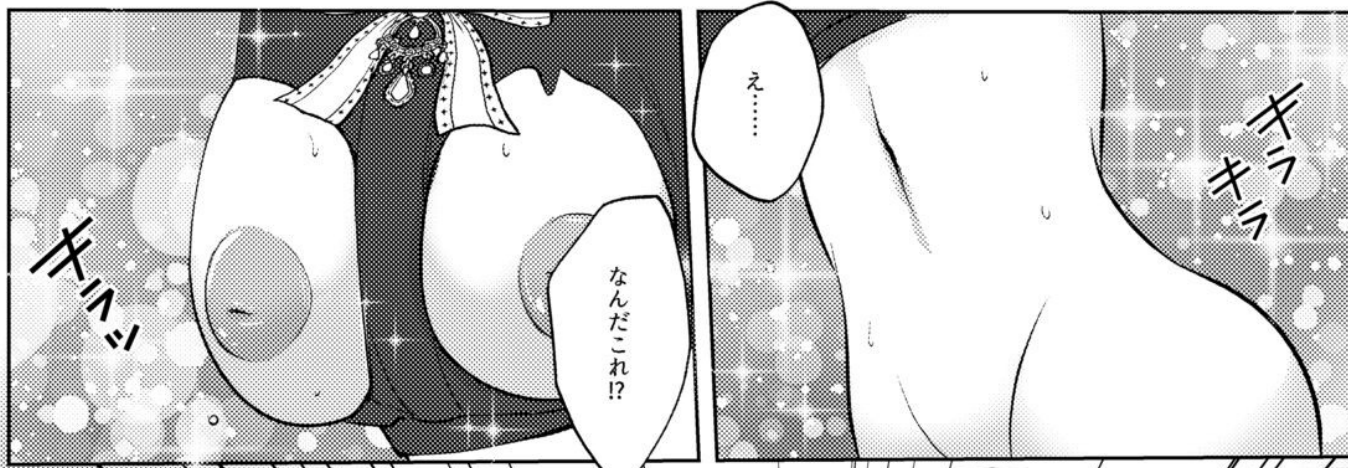
ズッ













戦うたって……

やべっ!?



さあ!
思う存分戦うっぴ!!



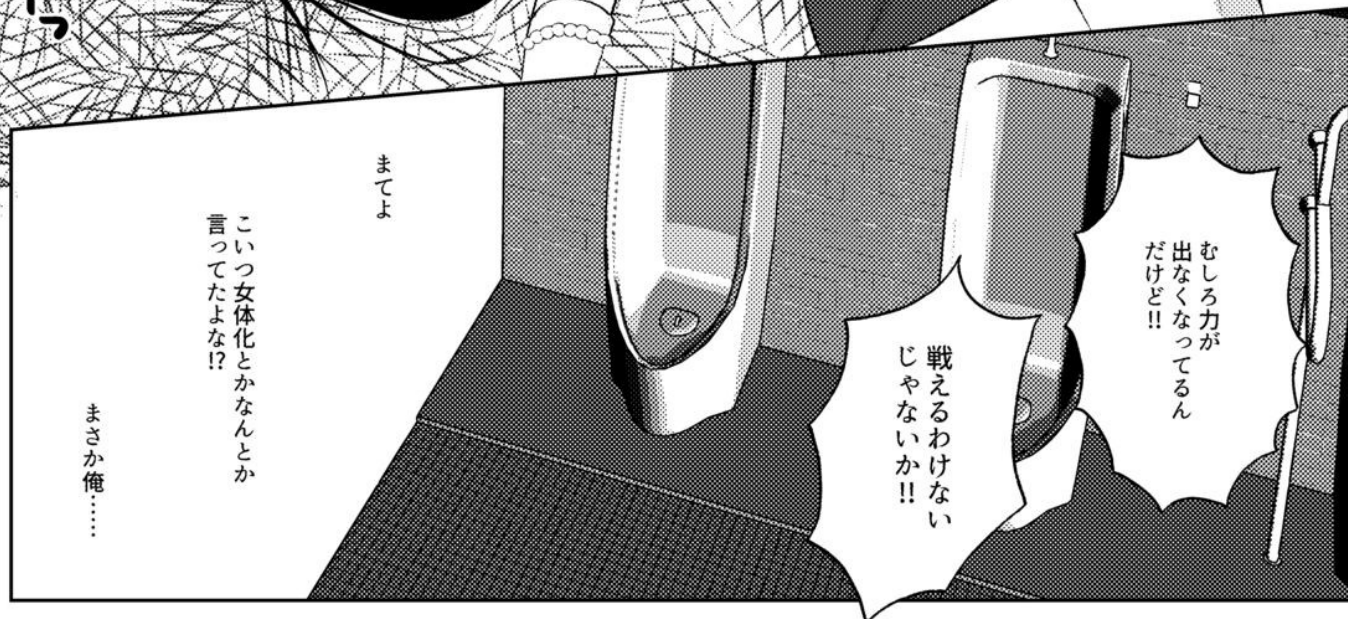
ナオ!

最強の体に
作り変えたっぴ!



腕だつて
こんなに細くなつて

声まで
高くなつて……!!



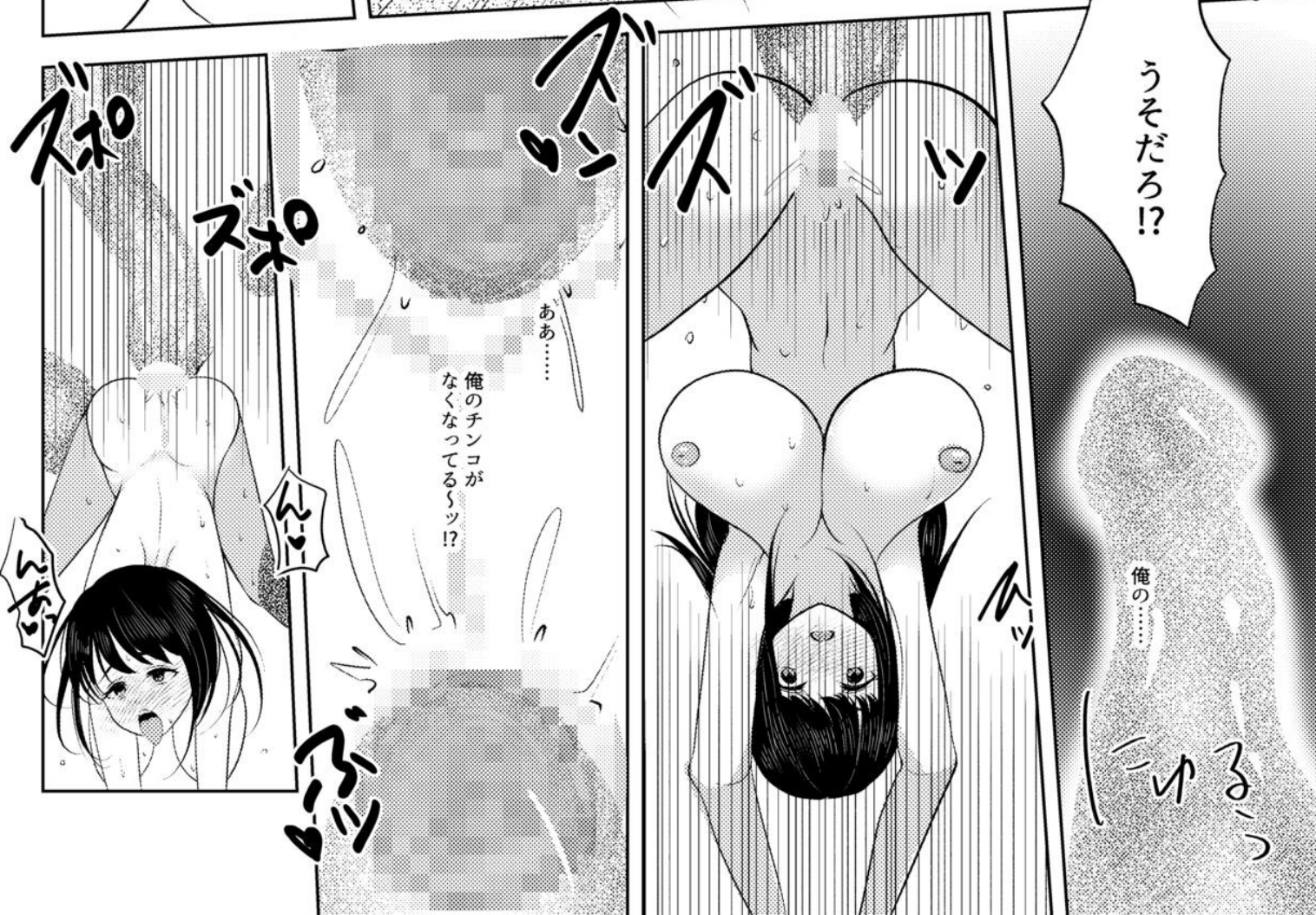
むしろ力が
出なくなつてゐん
だけど!!

戦えるわけない
じゃないか!!

まてよ

こいつ女体化とかなんとか
言つてたよな!?

まさか俺……



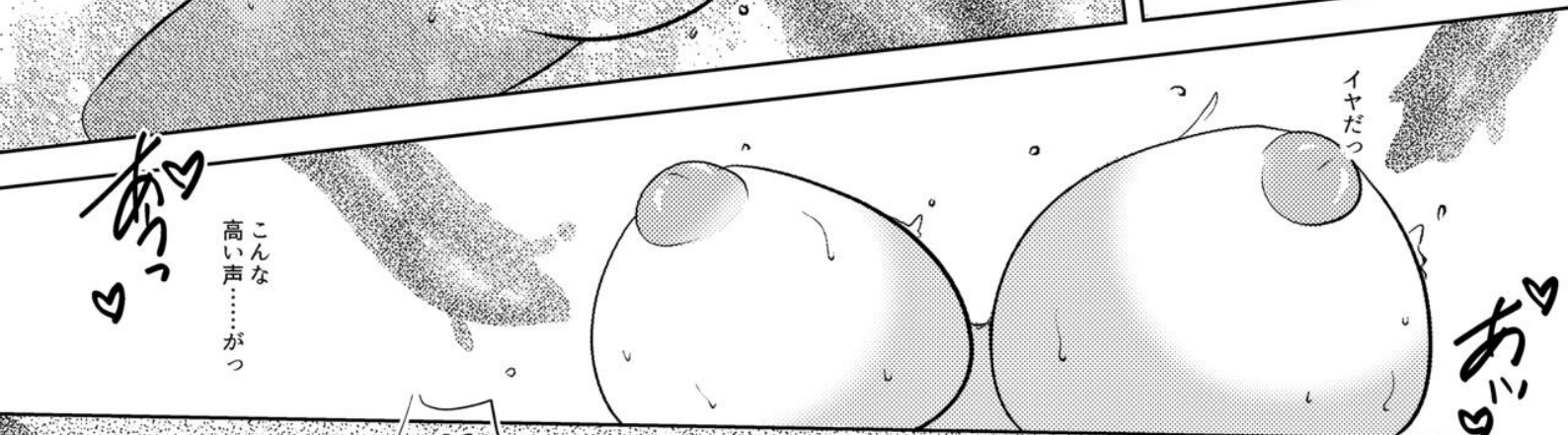


でも声が
漏れる……うっ

気持ちよくなってる
場合じゃないんだ



はっ



イヤだっ

こんな
高い声……がつ



あーっ
あーっ



ぐり
ぐり



あーっ
あーっ



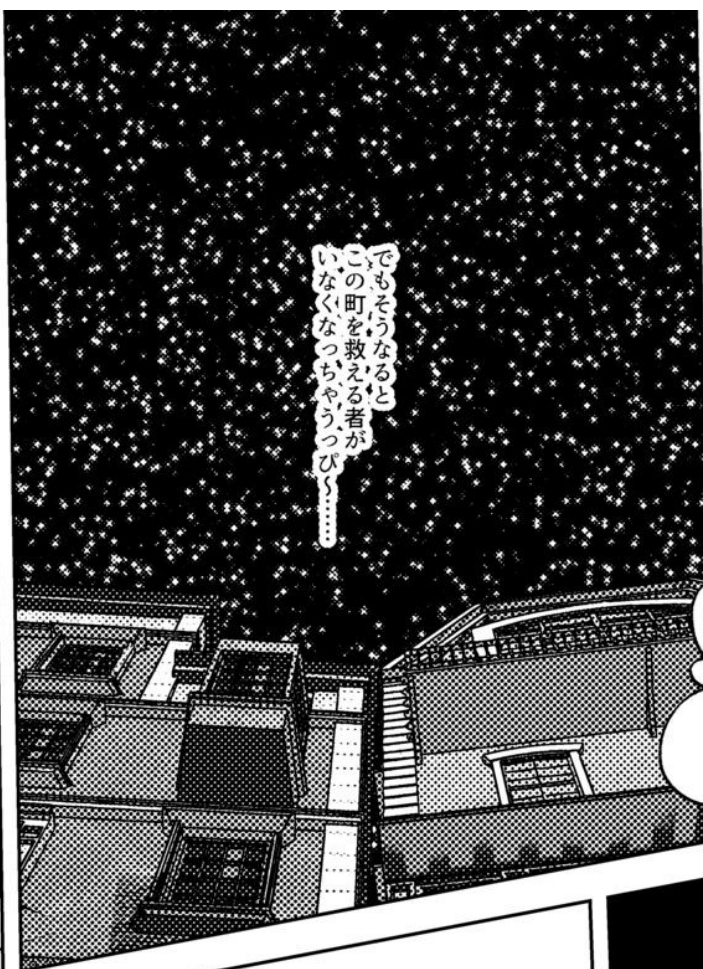
俺の声だ
なんて……っ

タ





そんな……



でもそうなると
この町を救える者が
いなくなっちゃうつびさ……



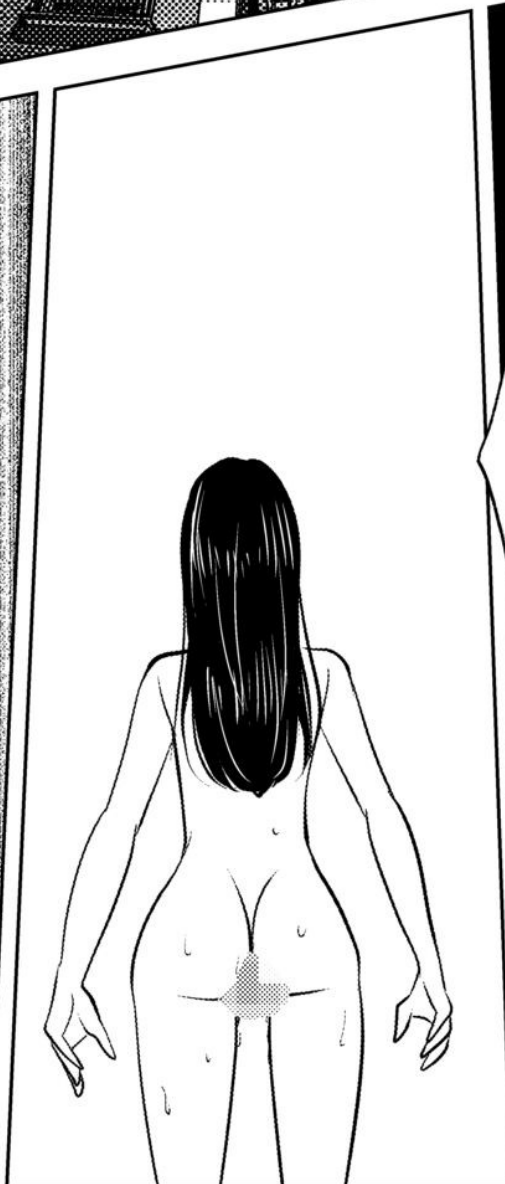
もちろん
ナオが嫌だつて
言うなら

元の男の姿に
戻れることも
できるつびけど……



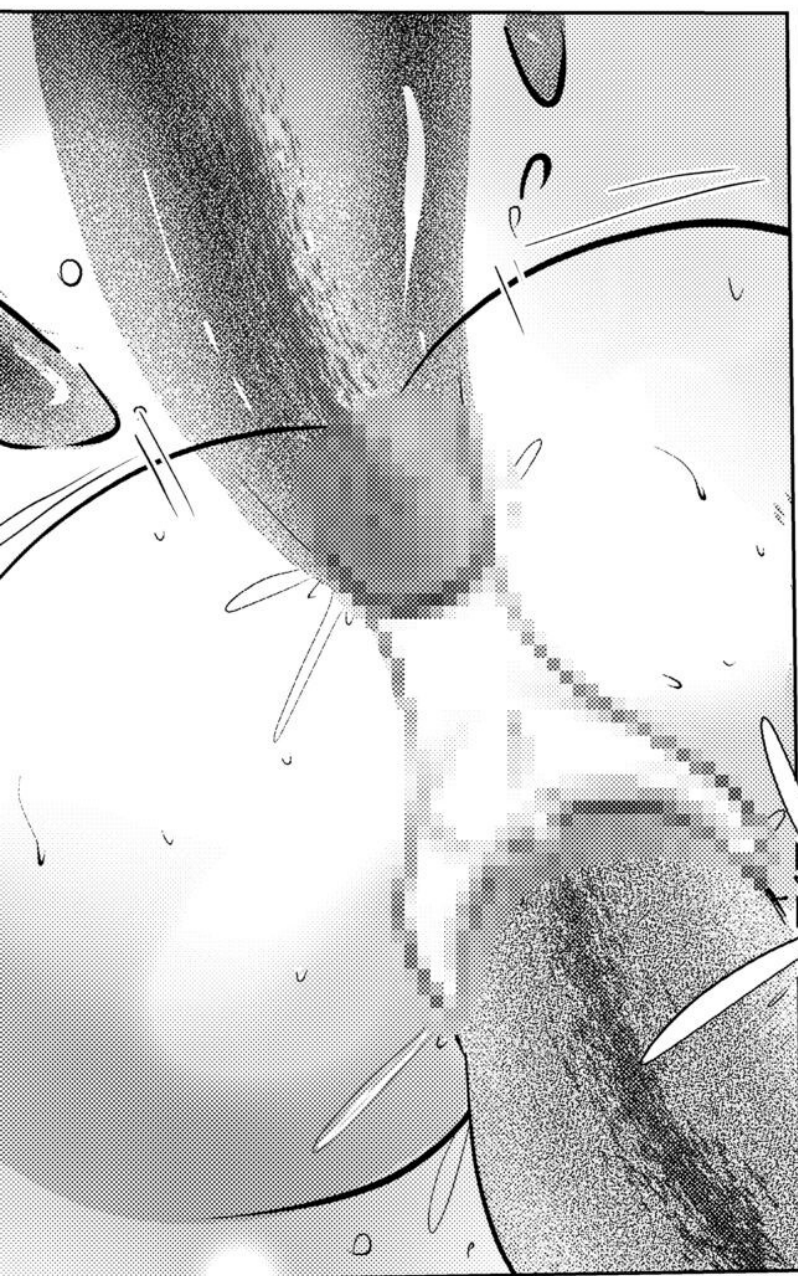
覚悟するんだ俺！

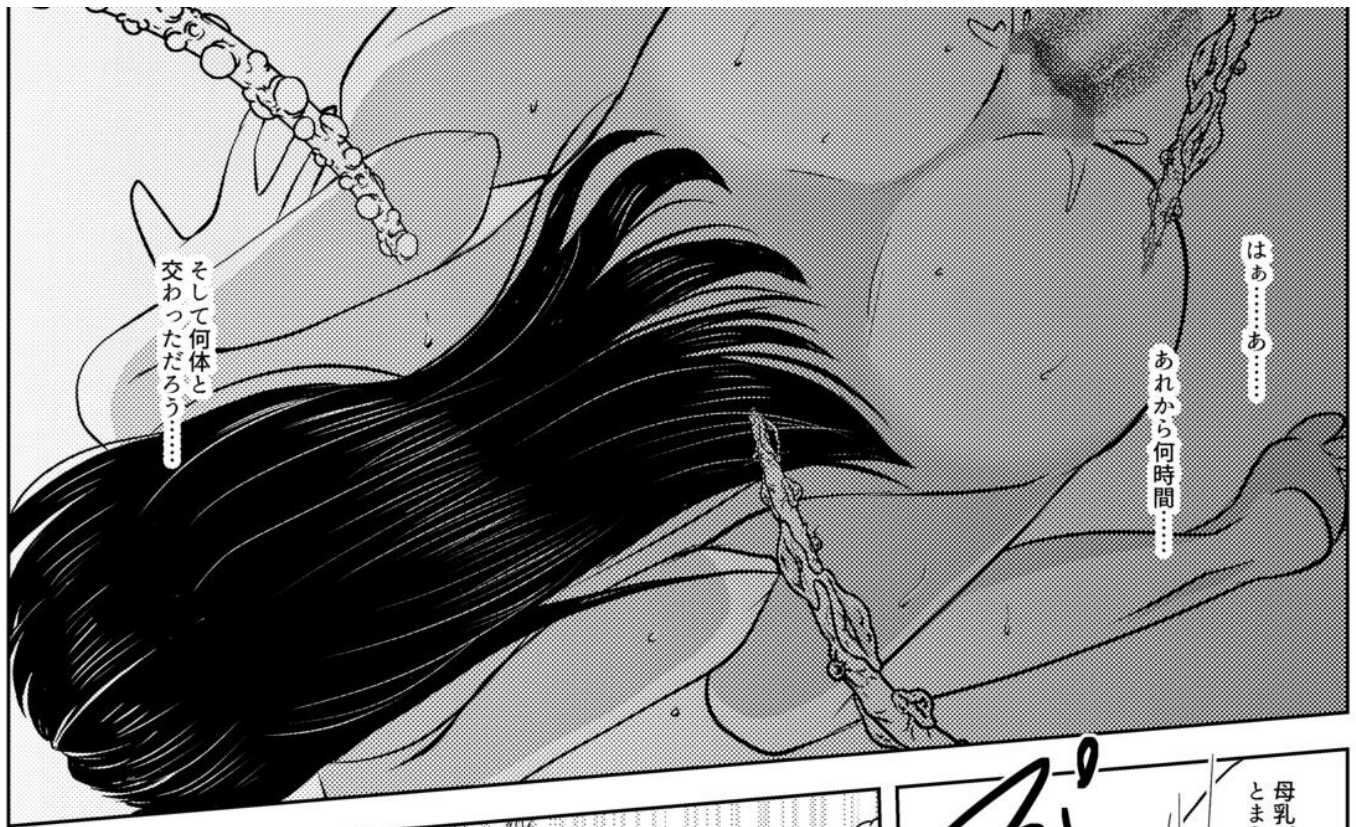
この町を救うまでは、
この体で戦うと……！！



……くっ

この町の命運は
俺にかかっている
ということか……！！





はあ……あ……

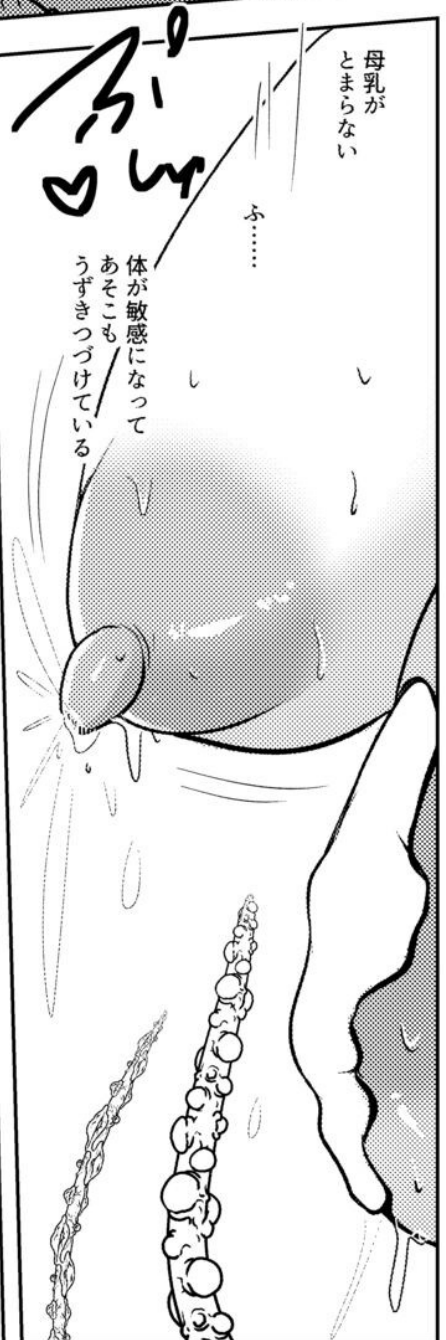
あれから何時間……

そして何体と
交わっただろう……



俺は本当は
男なのに……！

これも……



母乳が
とまらない

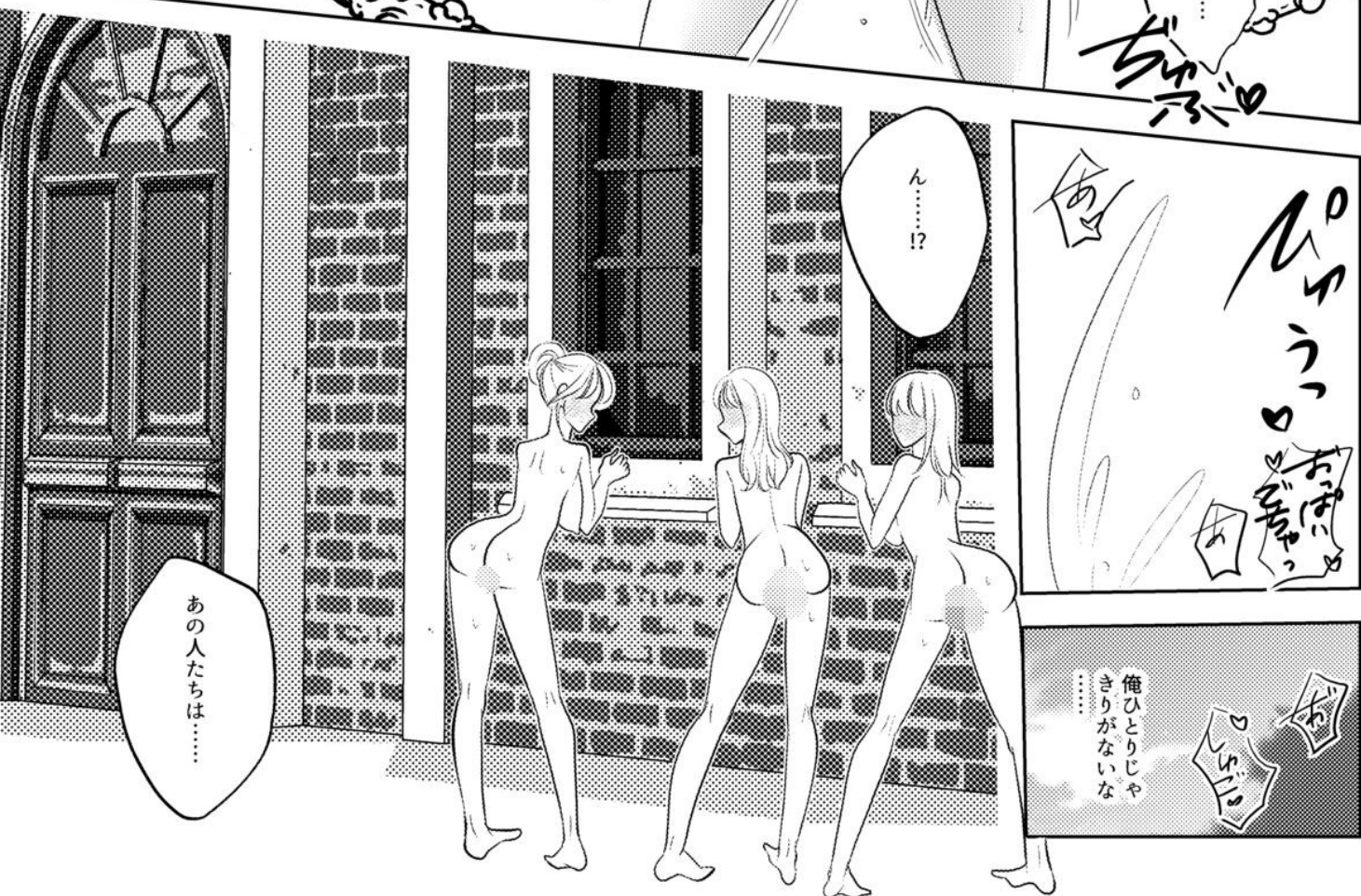
ふ……

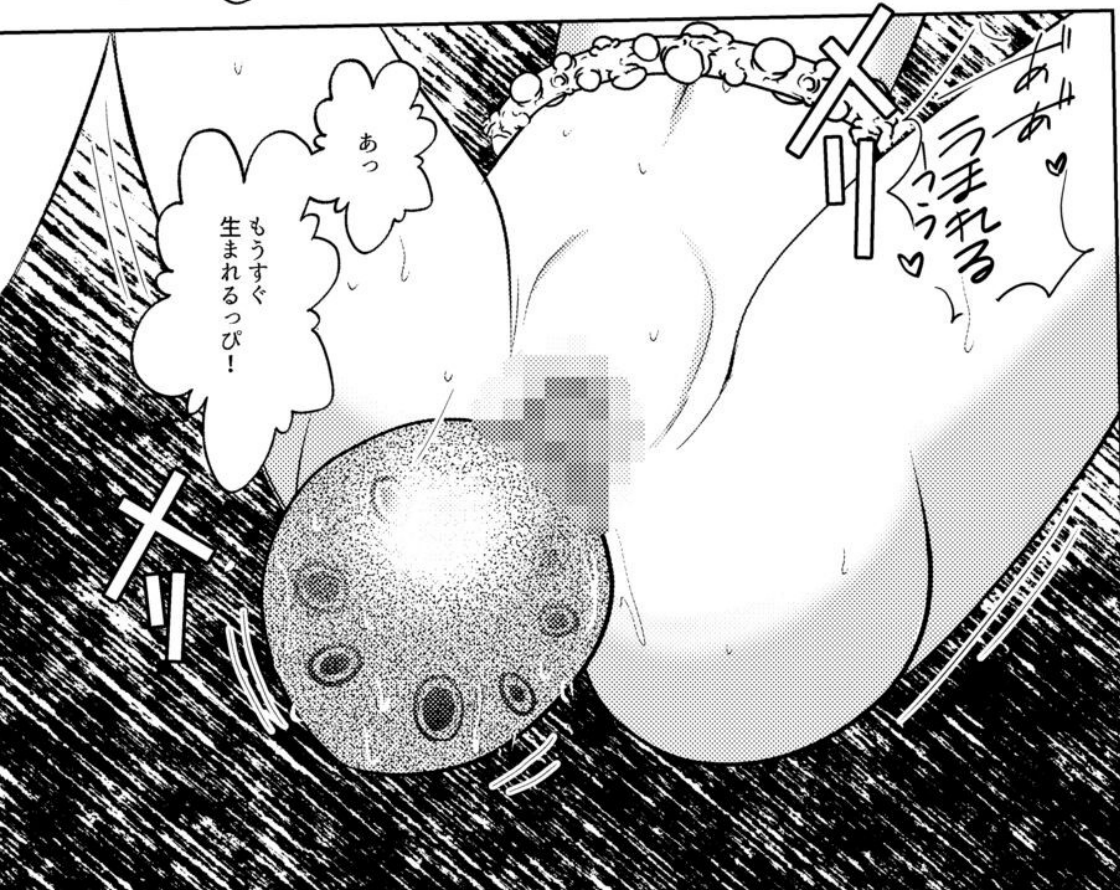
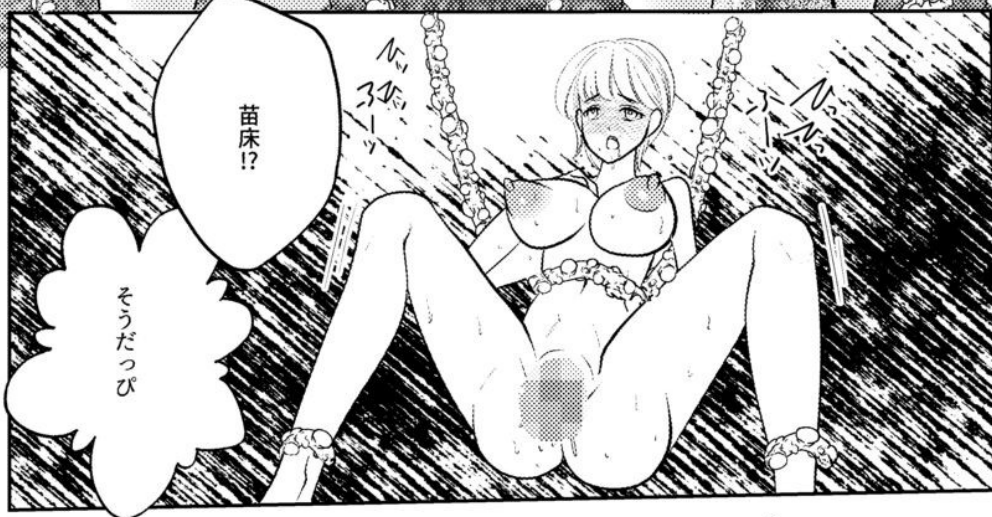
体が敏感になって
あそこも
うずきつづけている

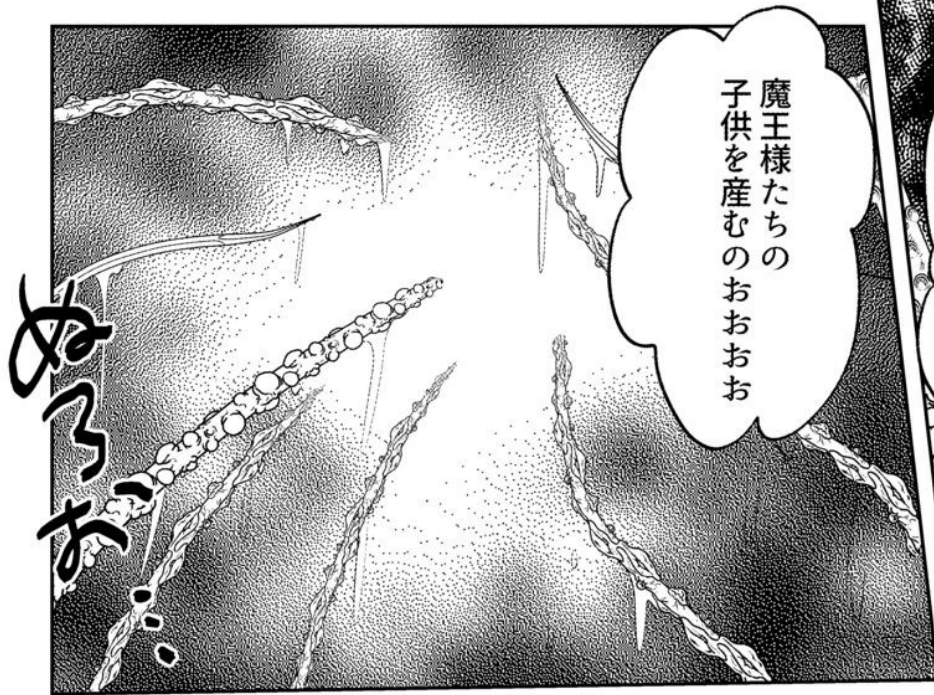


この快楽に

この町を
救うためなんだ！
それまでは
耐えるんだ！

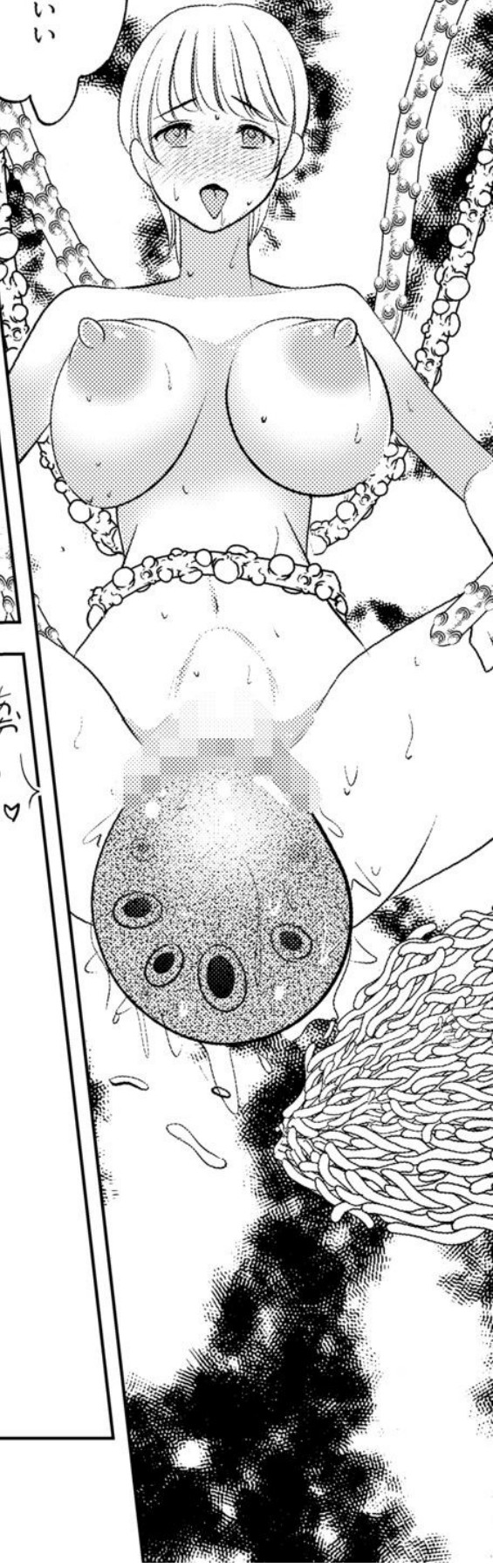


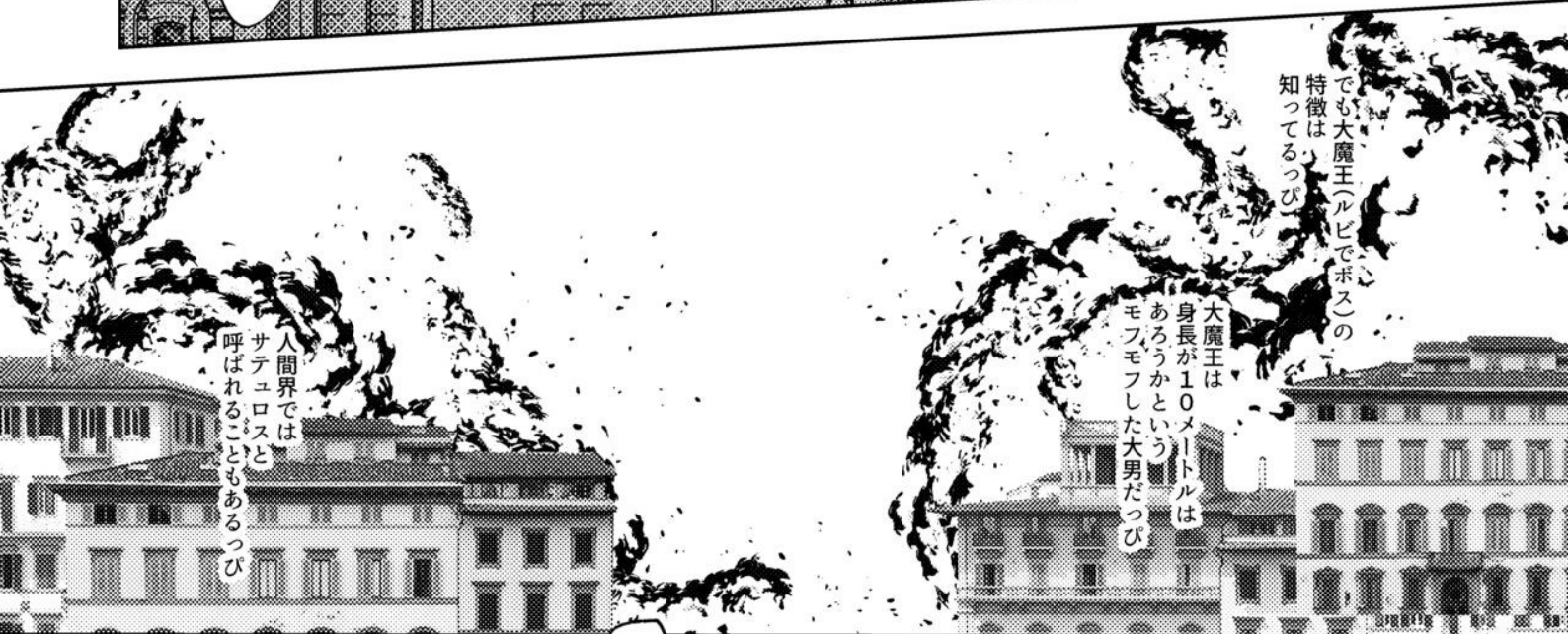
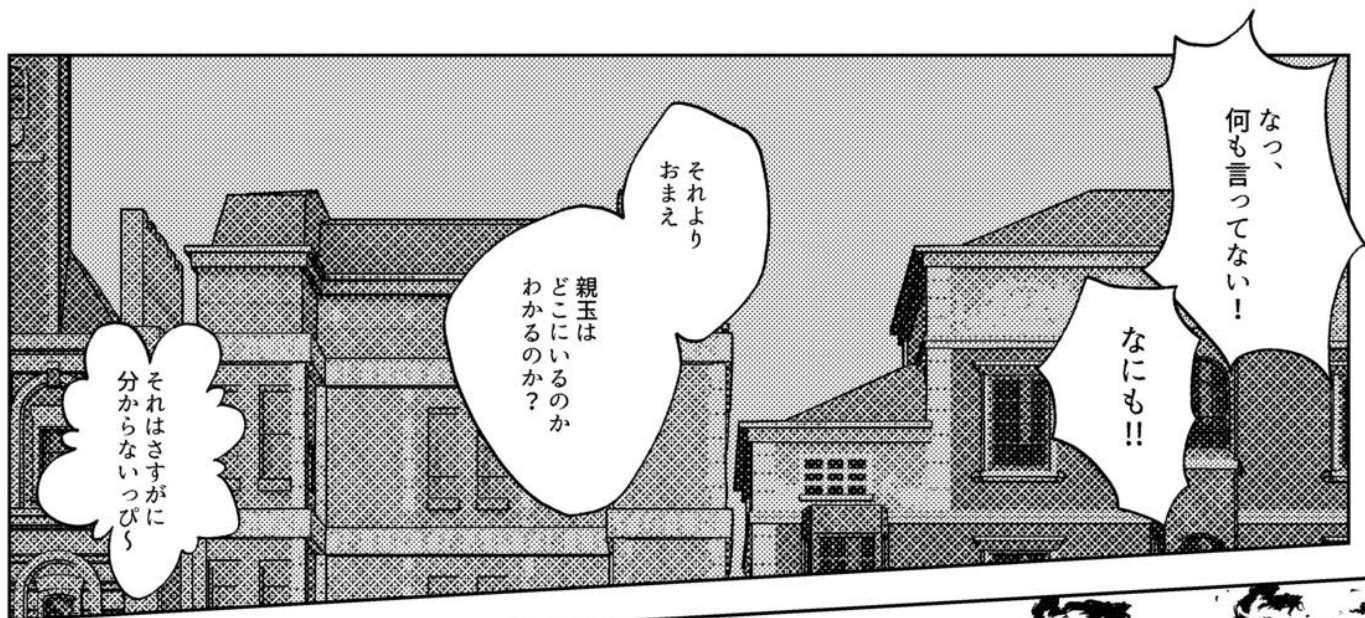




魔王様たちの
子供を産むのおおお

きゅんきゅん





ここだけの話

大魔王のあそこは地面すれすれまであるという噂だっぴ……

普段は普通の人間のふりをして生活しているらしいっぴ

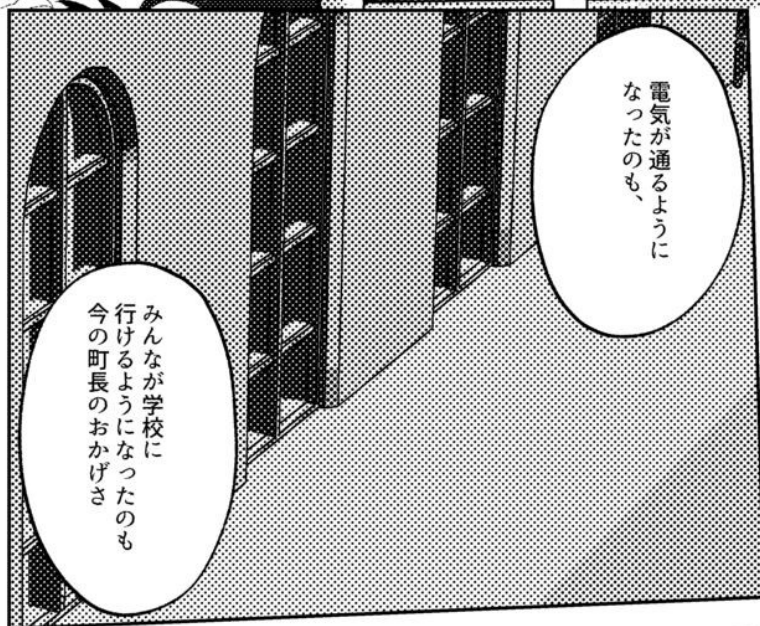


町役場

本当だっぴ!?

ああ……
その男は……

このウツボカズラシティの
町長は身長2メートルは
超える大男なんだ



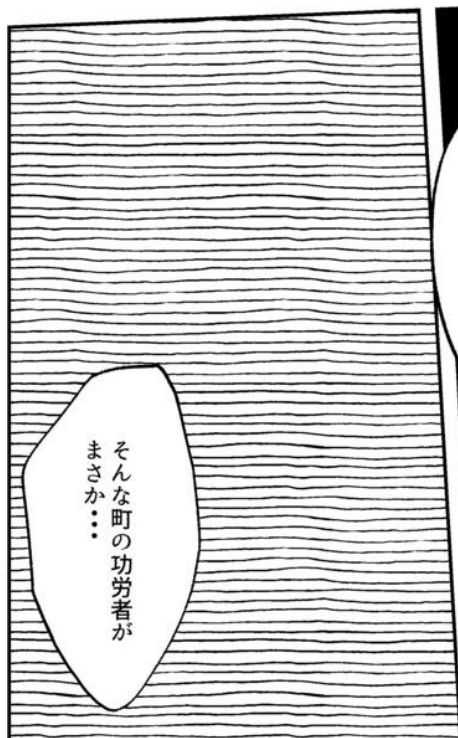
電気が通るように
なったのも、

みんなが学校に
行けるようになったのも
今の町長のおかげさ



5年前に
この町の町長に
選ばれてから

ウツボカズラシティは
飛躍的に発展したんだ



それまではみんな
竪穴式住居で
生活していたからね……

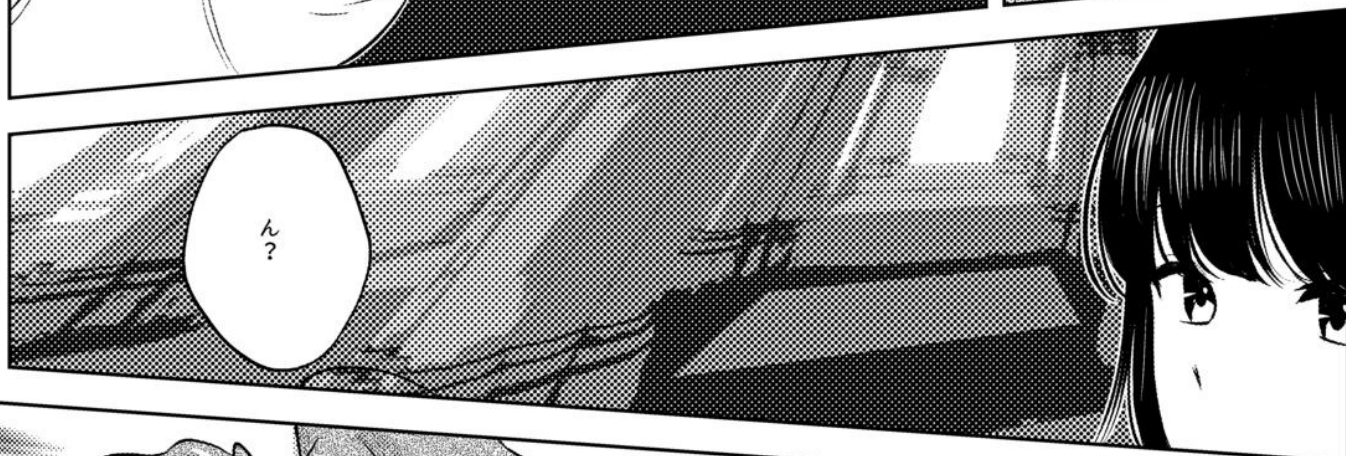
そんな町の功労者が
まさか……



ハ
ハ
ハ



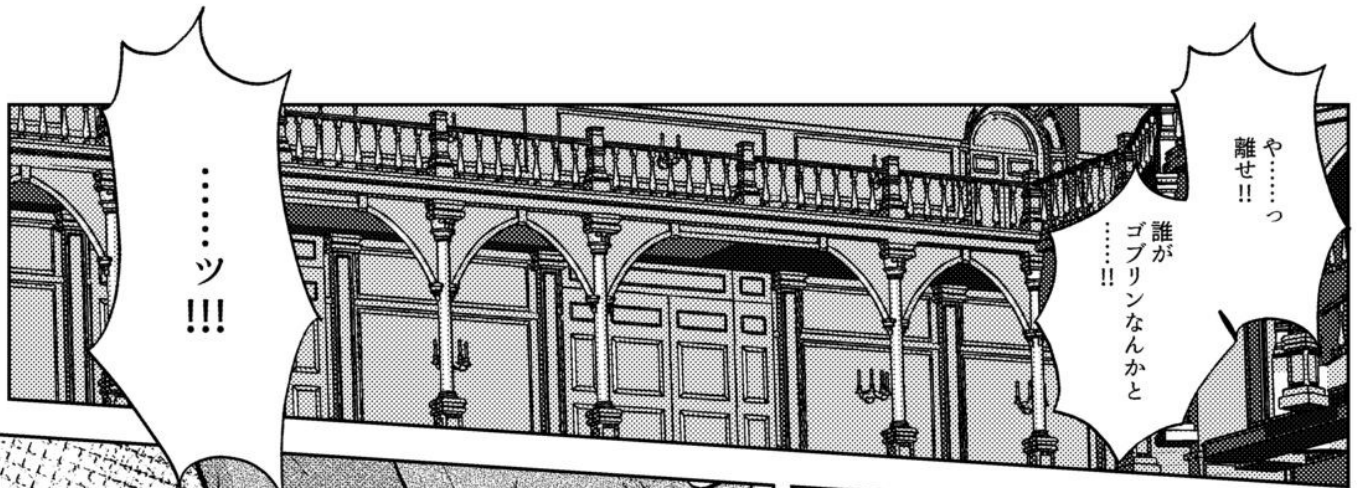
数日でこんなに
荒れ果てるなんて……



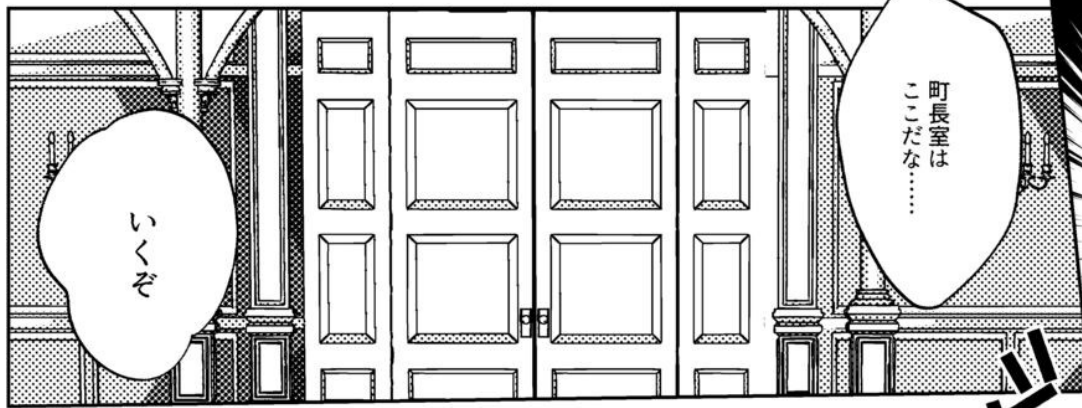
ん？



今何かの影が



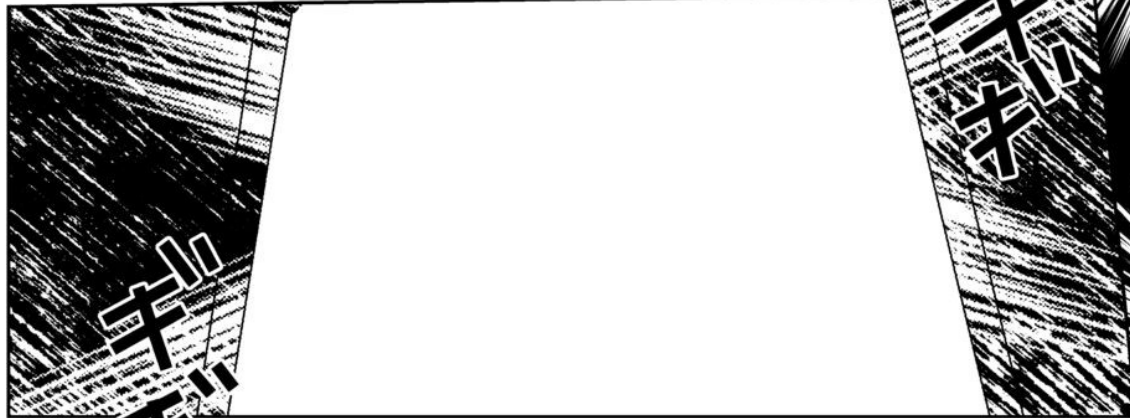




いくぞ

町長室は
ここだな……

俺もまさか
あの人たちのように……



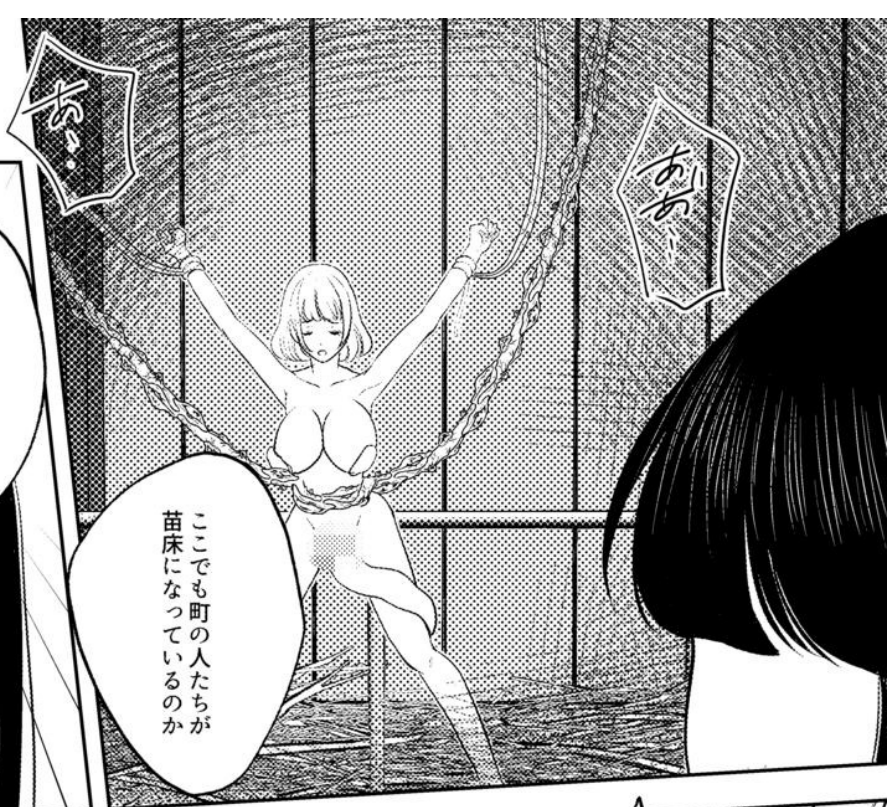
千々

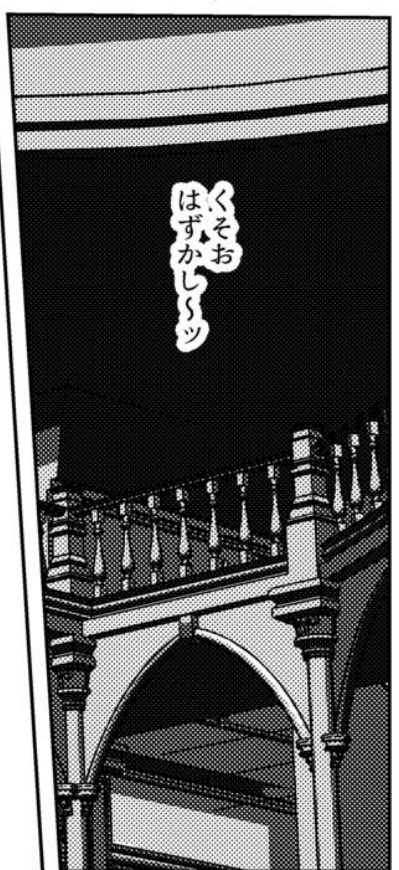
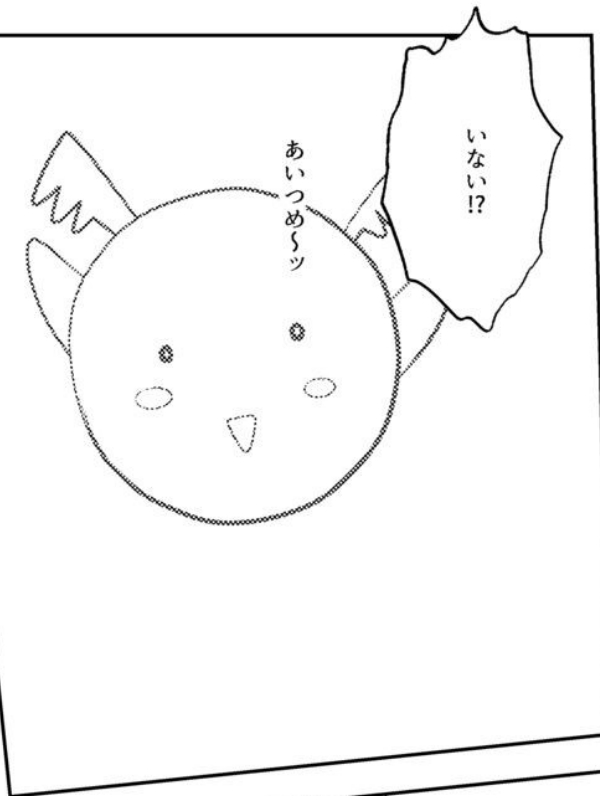
ギギ

いやだ！
俺はこの闘いが終わったら
男に戻るんだ！



牧場！？





でも……
なんであの人は
ほかの人間と違って
無事だったんだ？

まさか
やっぱり……

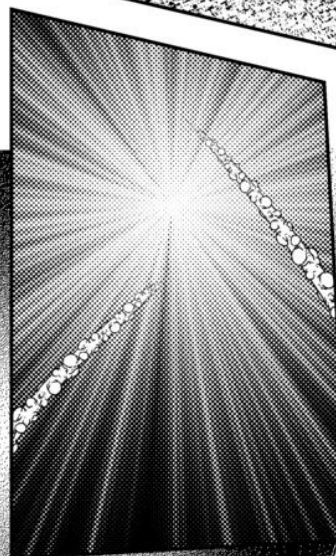
「ゴゴゴ」

!!!

ド
ー
ー
ー



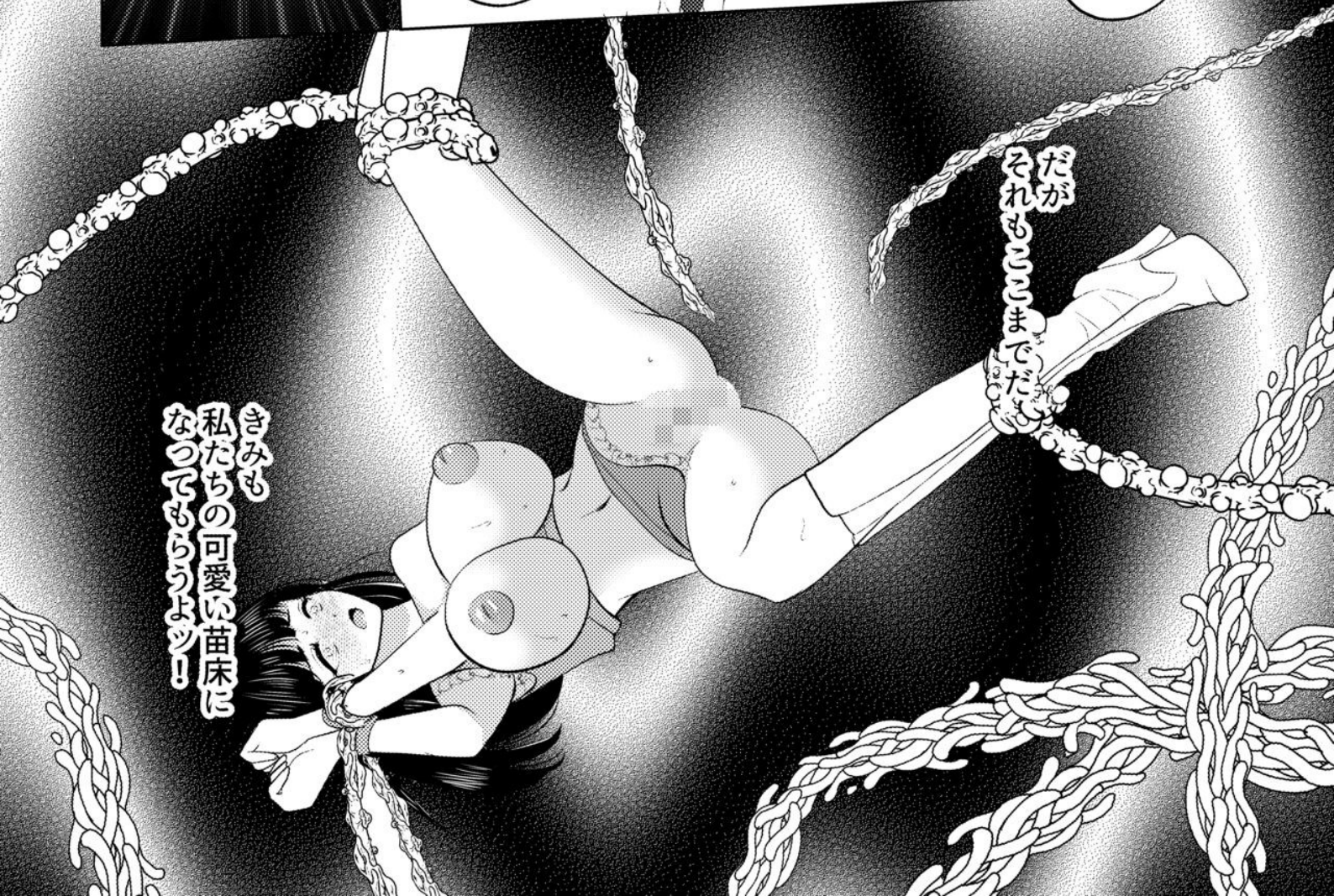
ははは、
きみはウツボカズラ学園の
ヤマグチ・ナオだな？



ここ数日
目覚ましい活躍だった
そうじゃないか

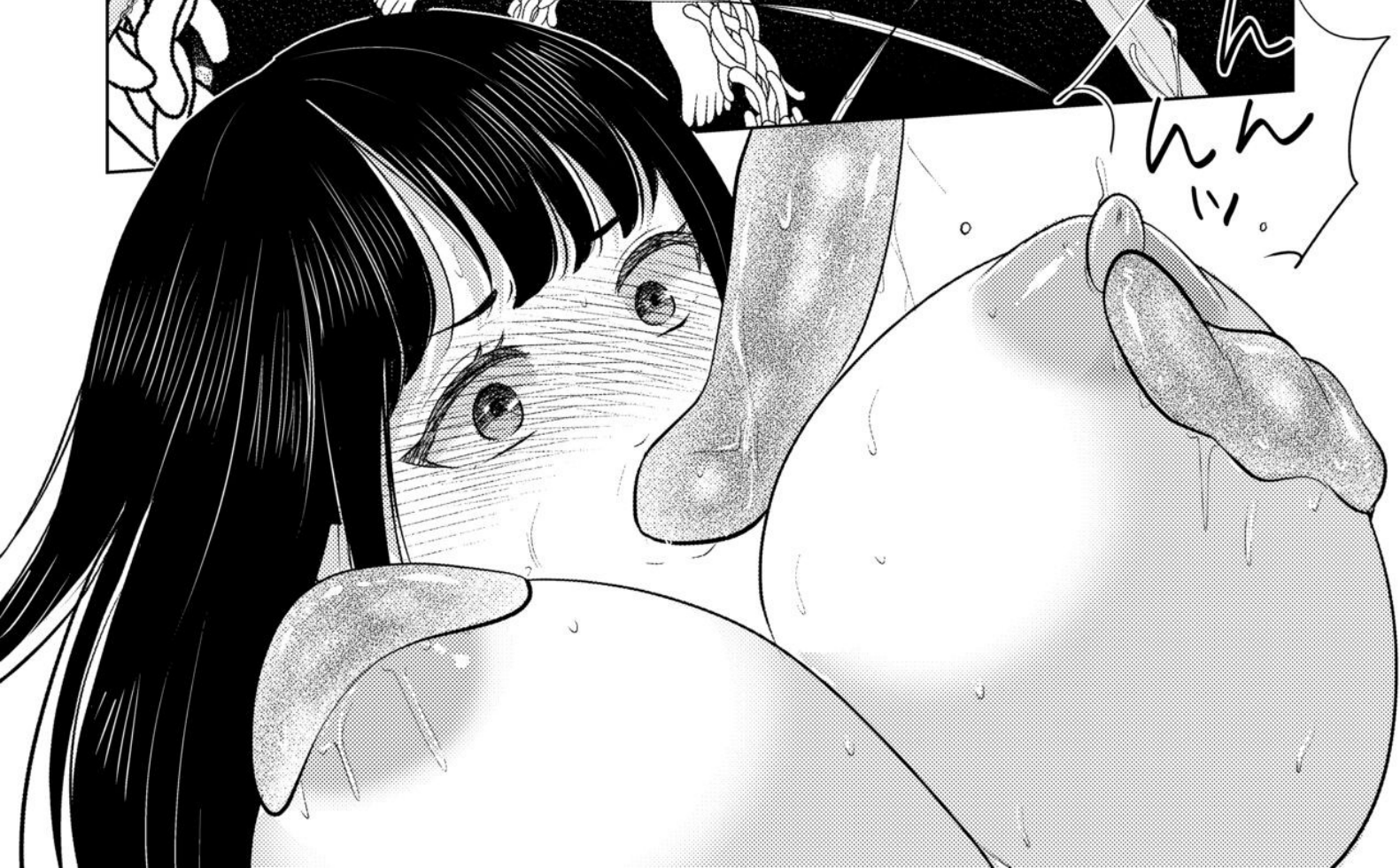


うわさは
聞いているよ……



だが
それもここまで

きみも
私たちの可愛い苗床に
なつてもらおうよッ！





おはよう

おはよう

おはよう

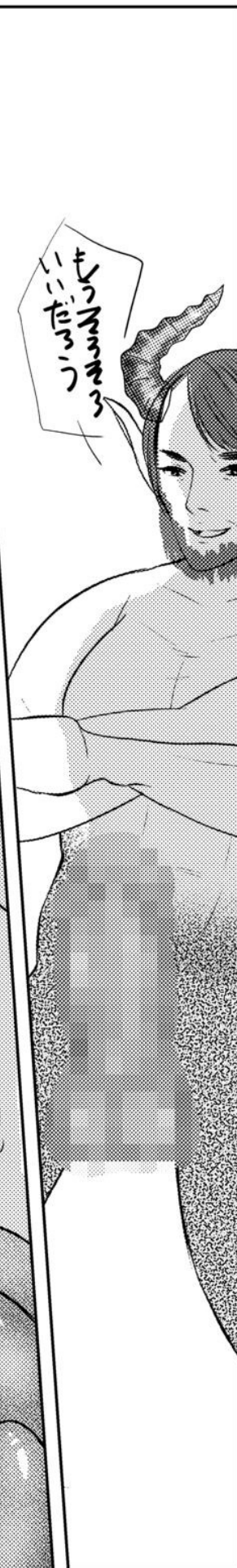
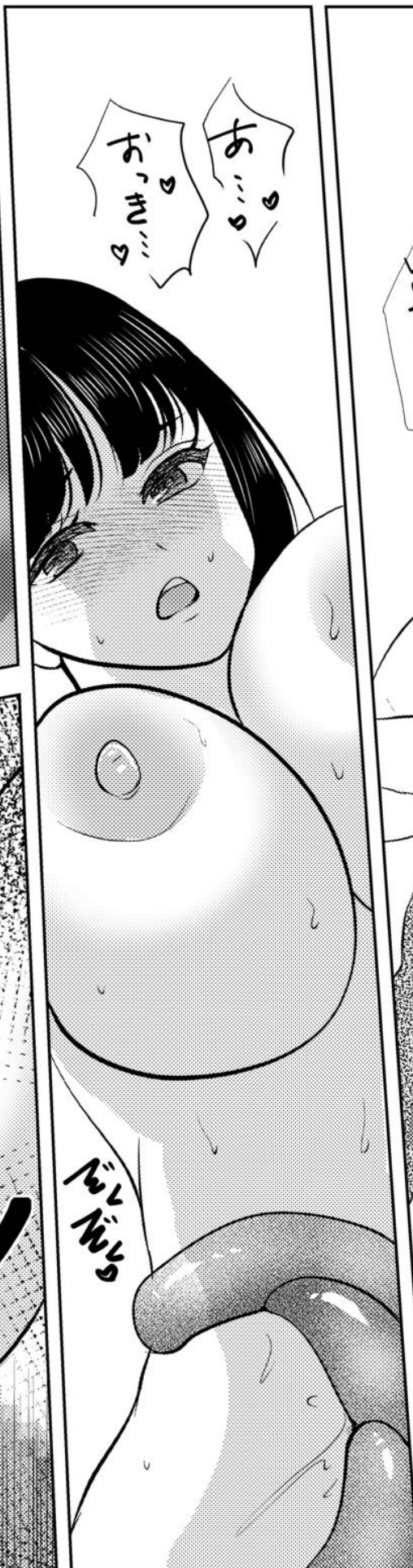
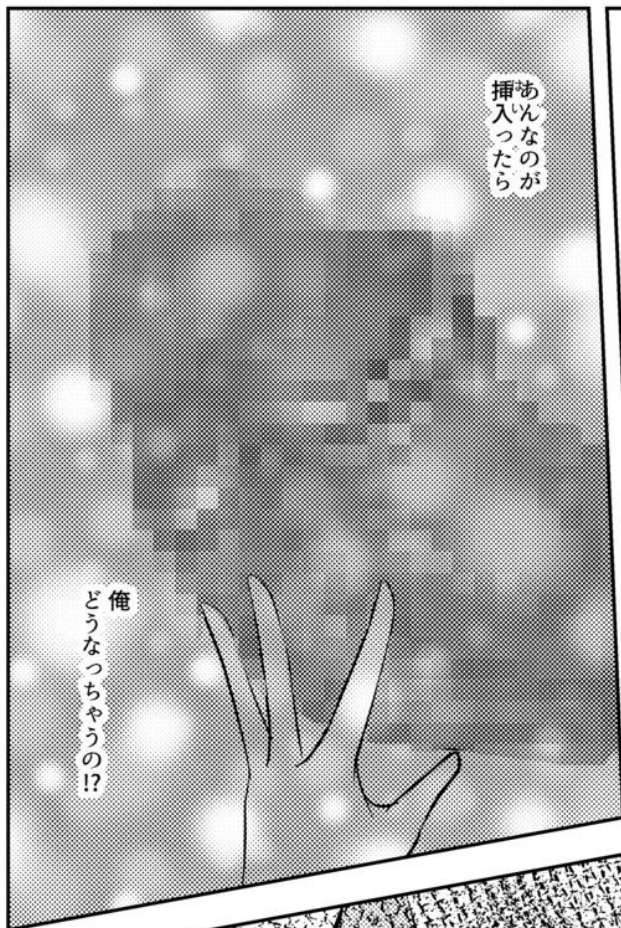
おはよう

おはよう

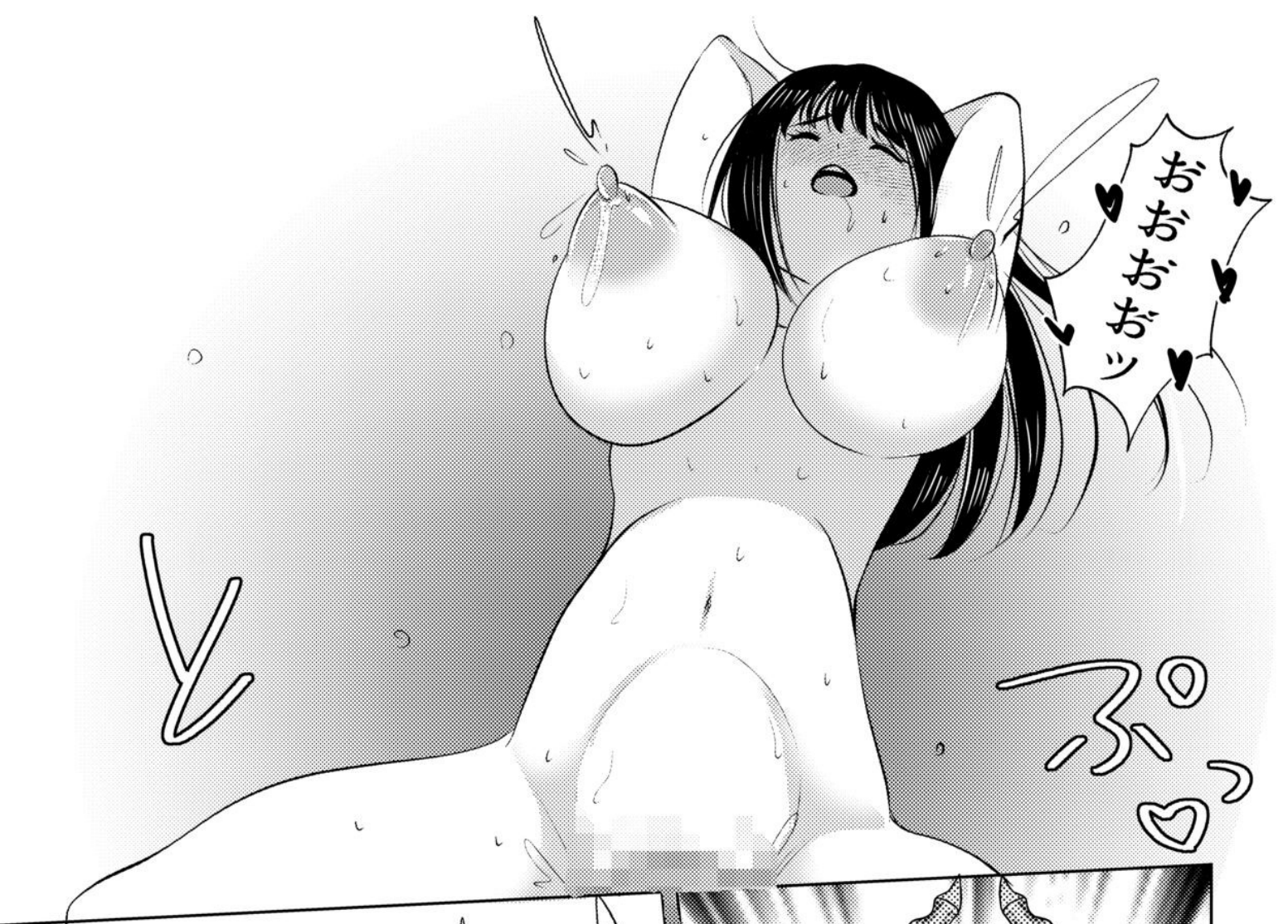
おはよう

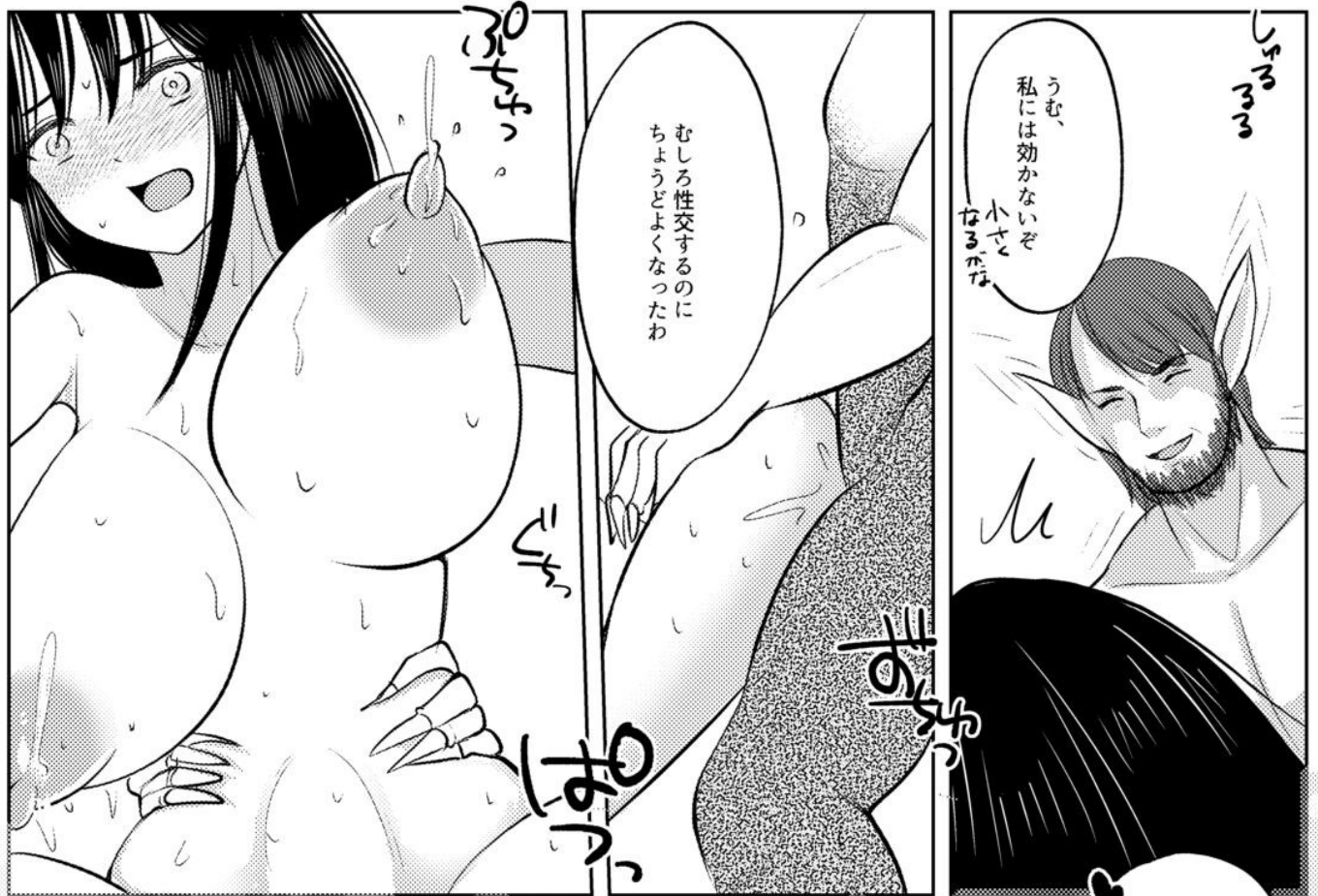
おはよう

おはよう









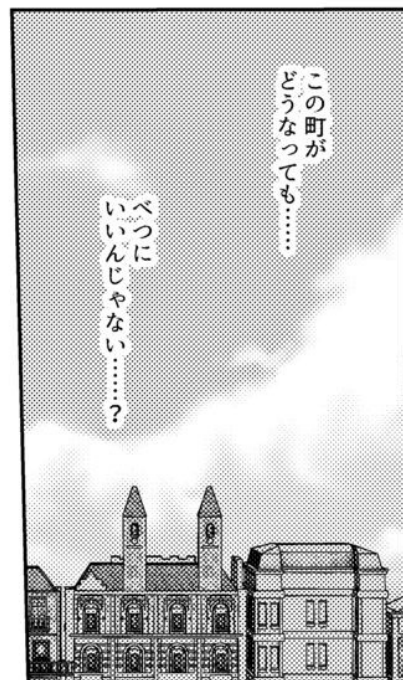


ああ……

でも大魔王様の
おちんちん
きもちい♡♡



みんなも
気持ちよさそうだし

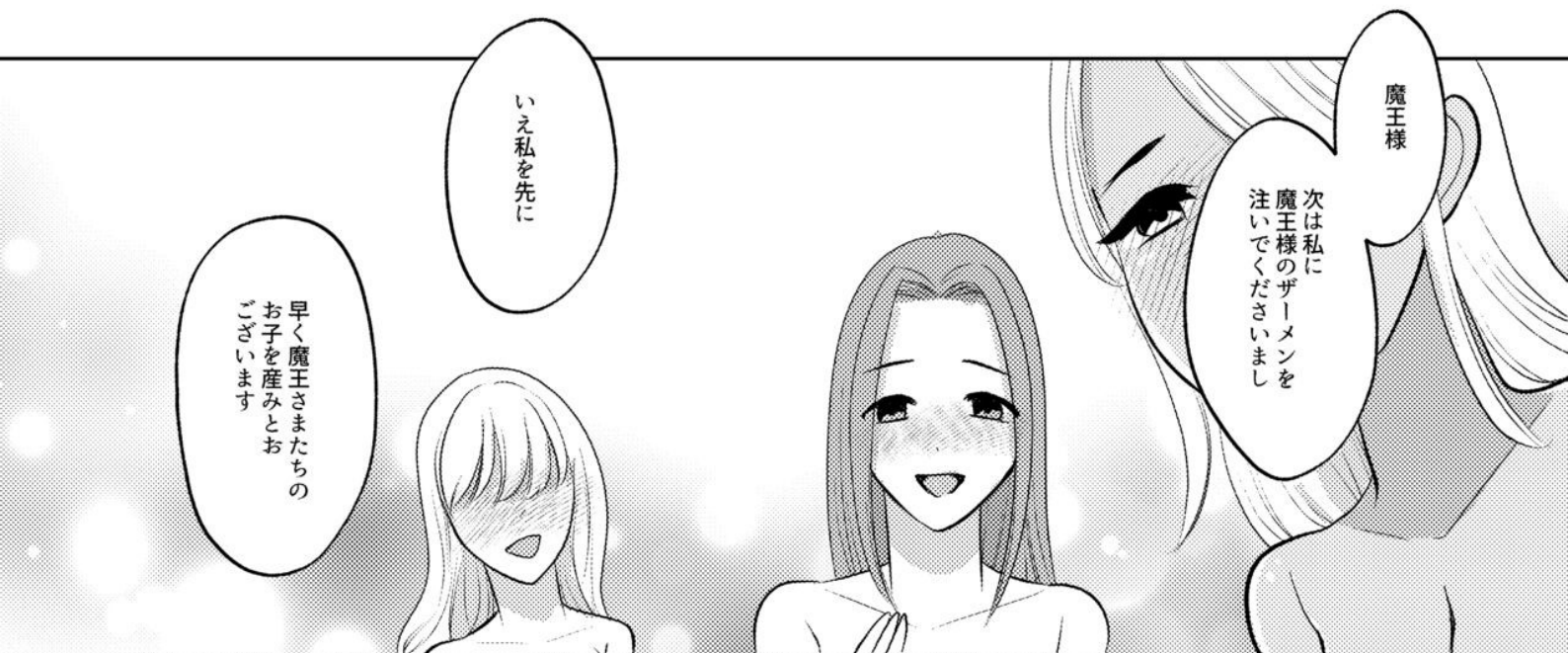


この町が
どうなっても……

べつに
いいんじゃない……？



むしろ
このまま続いても……

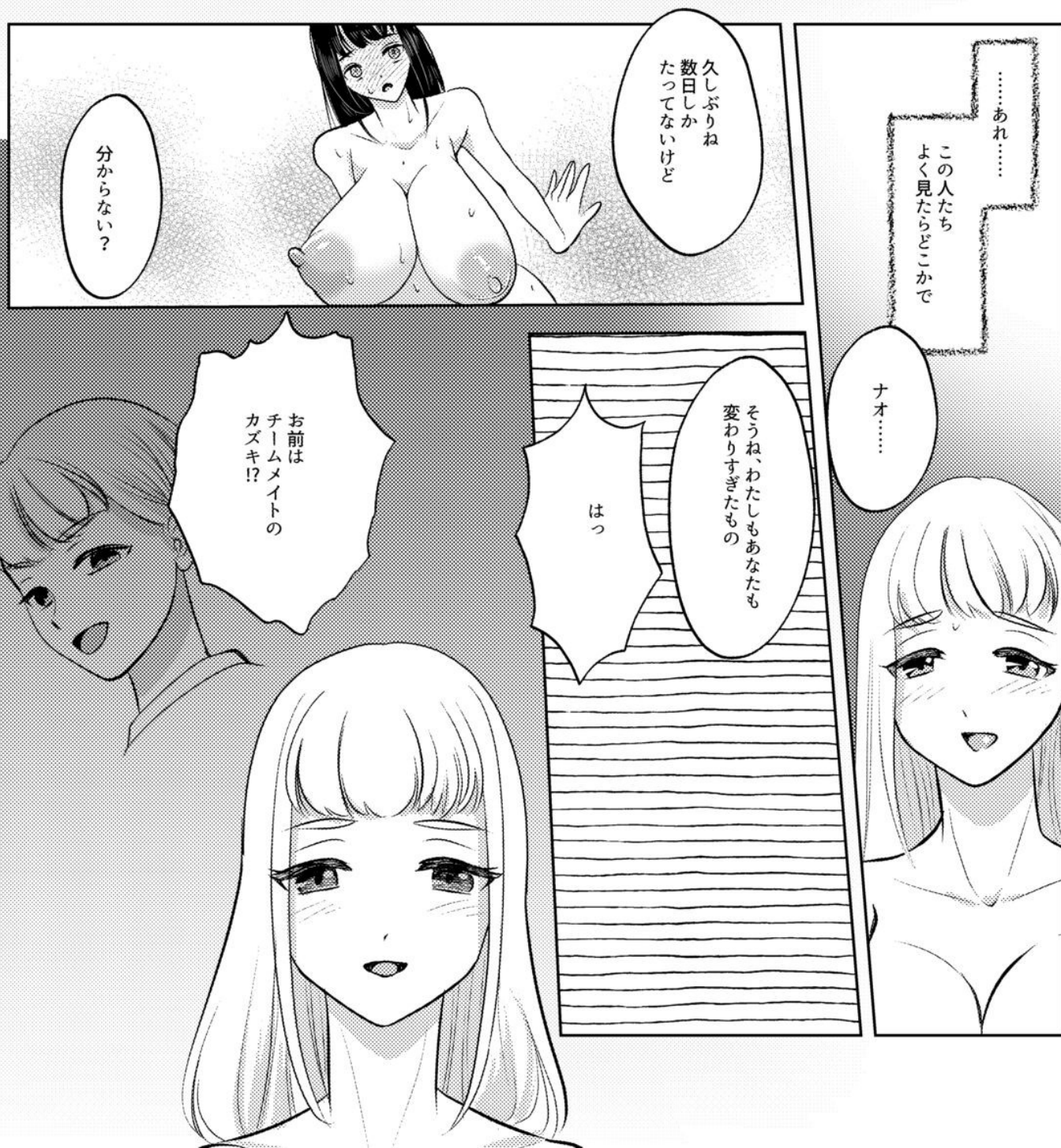


魔王様

次は私に
魔王様のザーメンを
注いでくださいまし

いえ私を先に

早く魔王さまたちのお子
を産みとお
ごさいます



……あれ……

この人たちが
よく見たらどこかで

久しぶりね
数日しか
たっていないけど

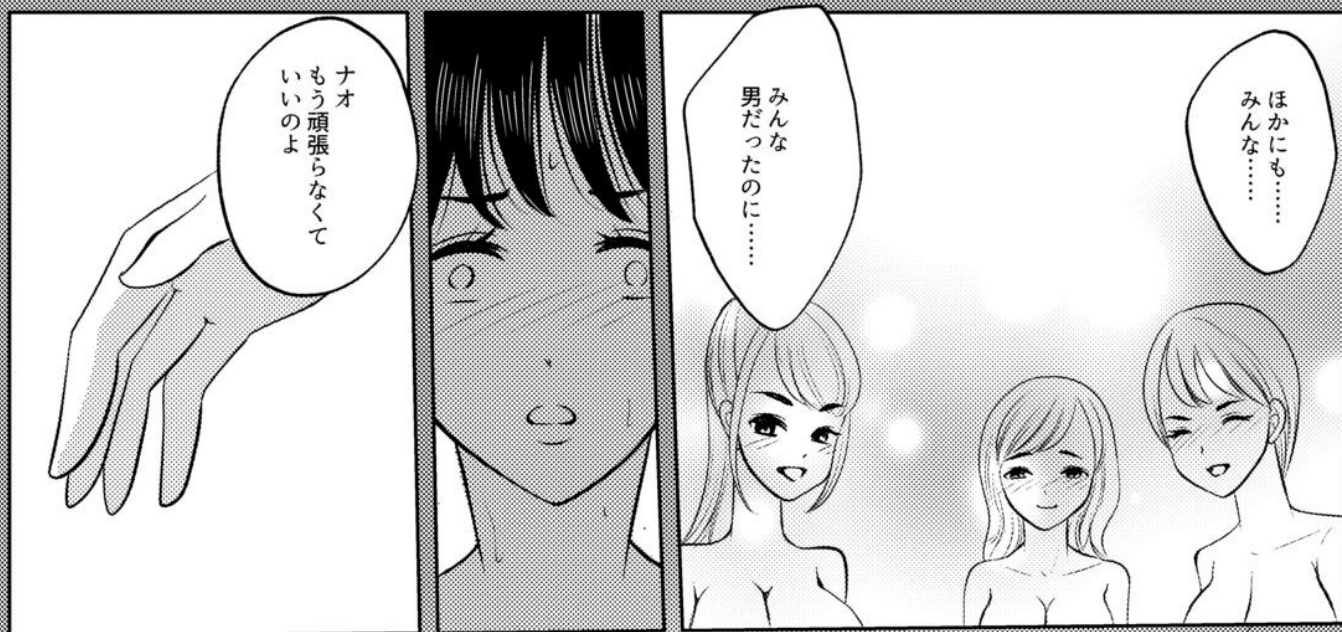
分からない？

ナオ……

そうね、わたしもあなたも
変わりすぎたもの

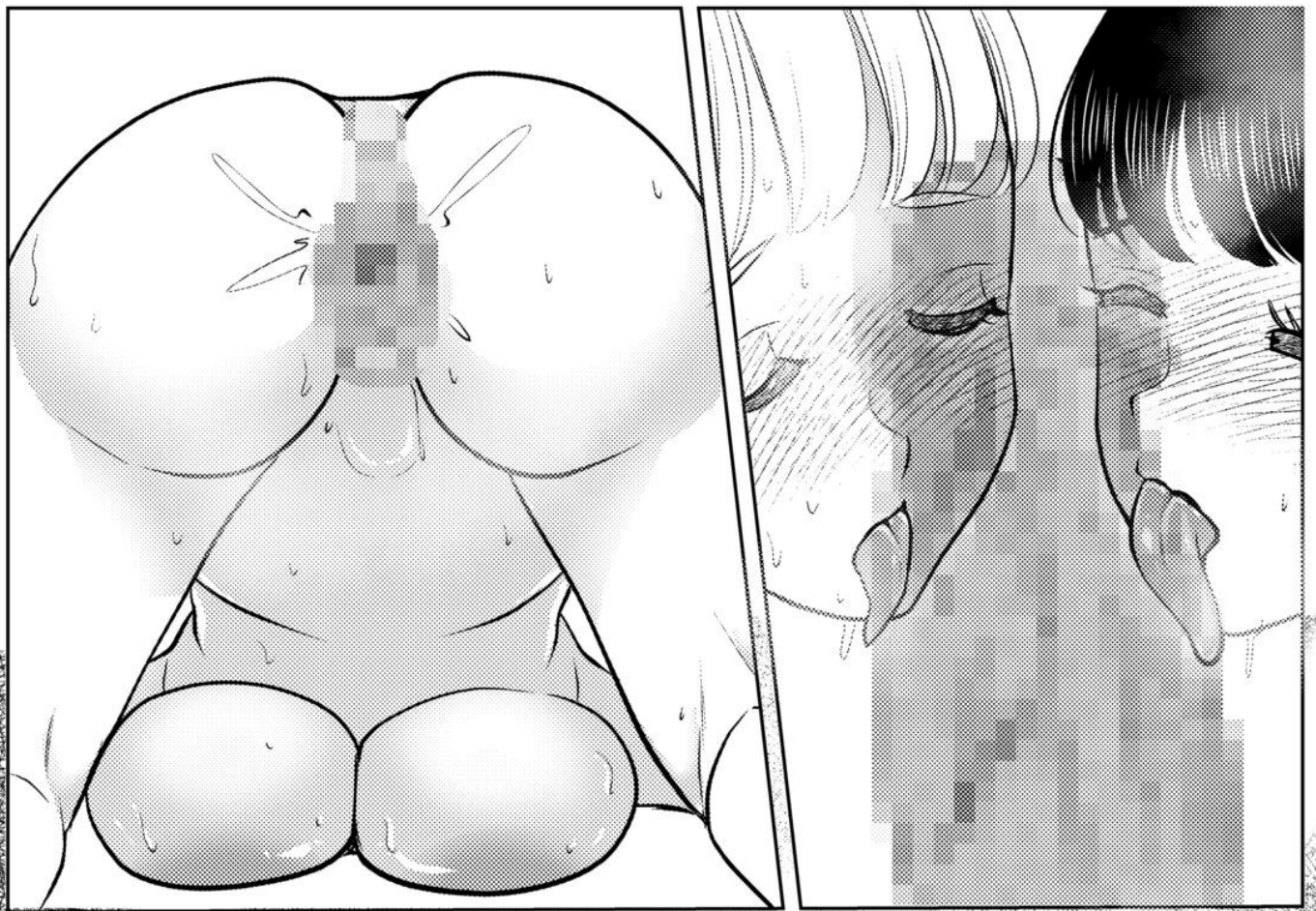
はっ

お前は
チームメイトの
カズキ!?

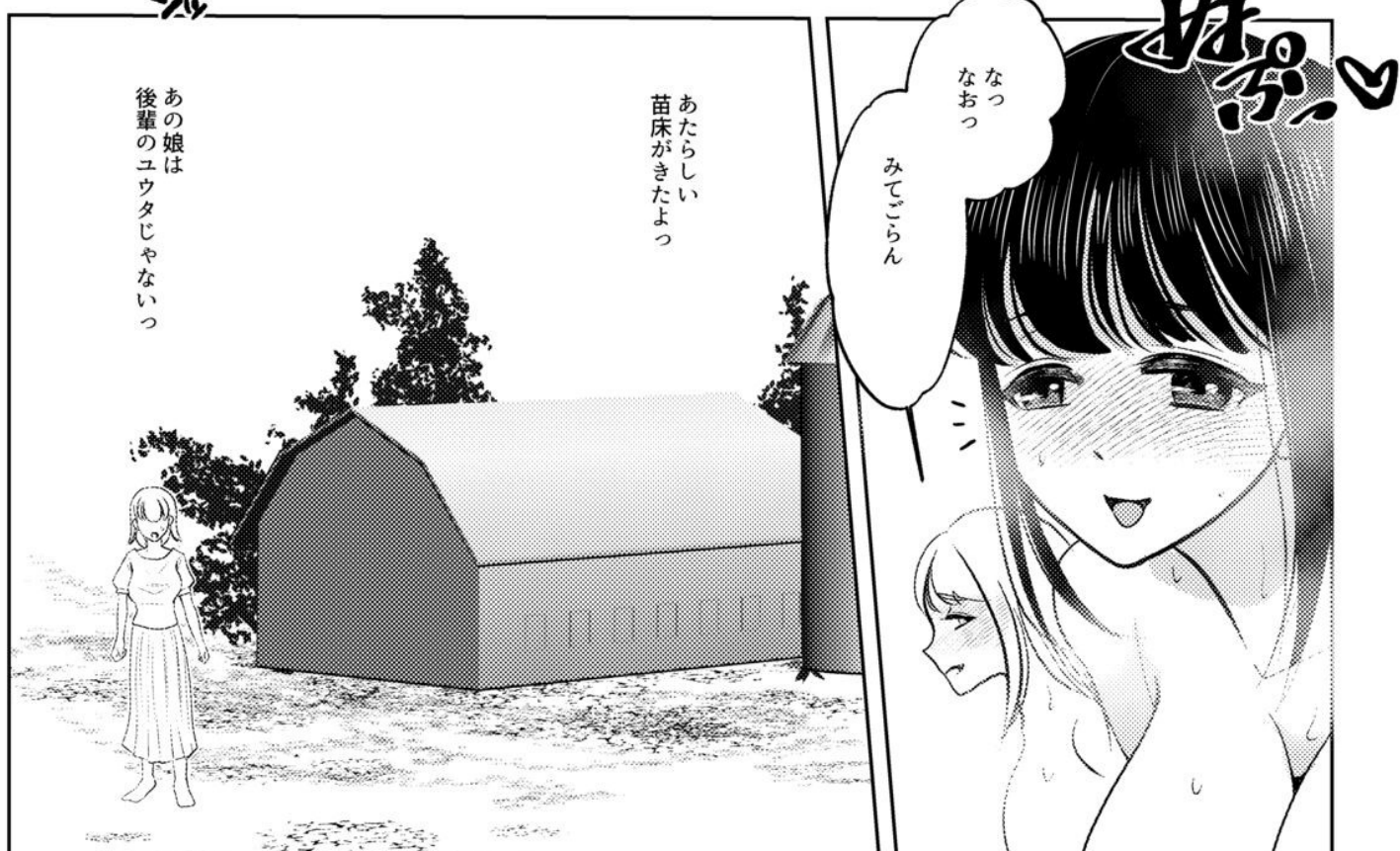
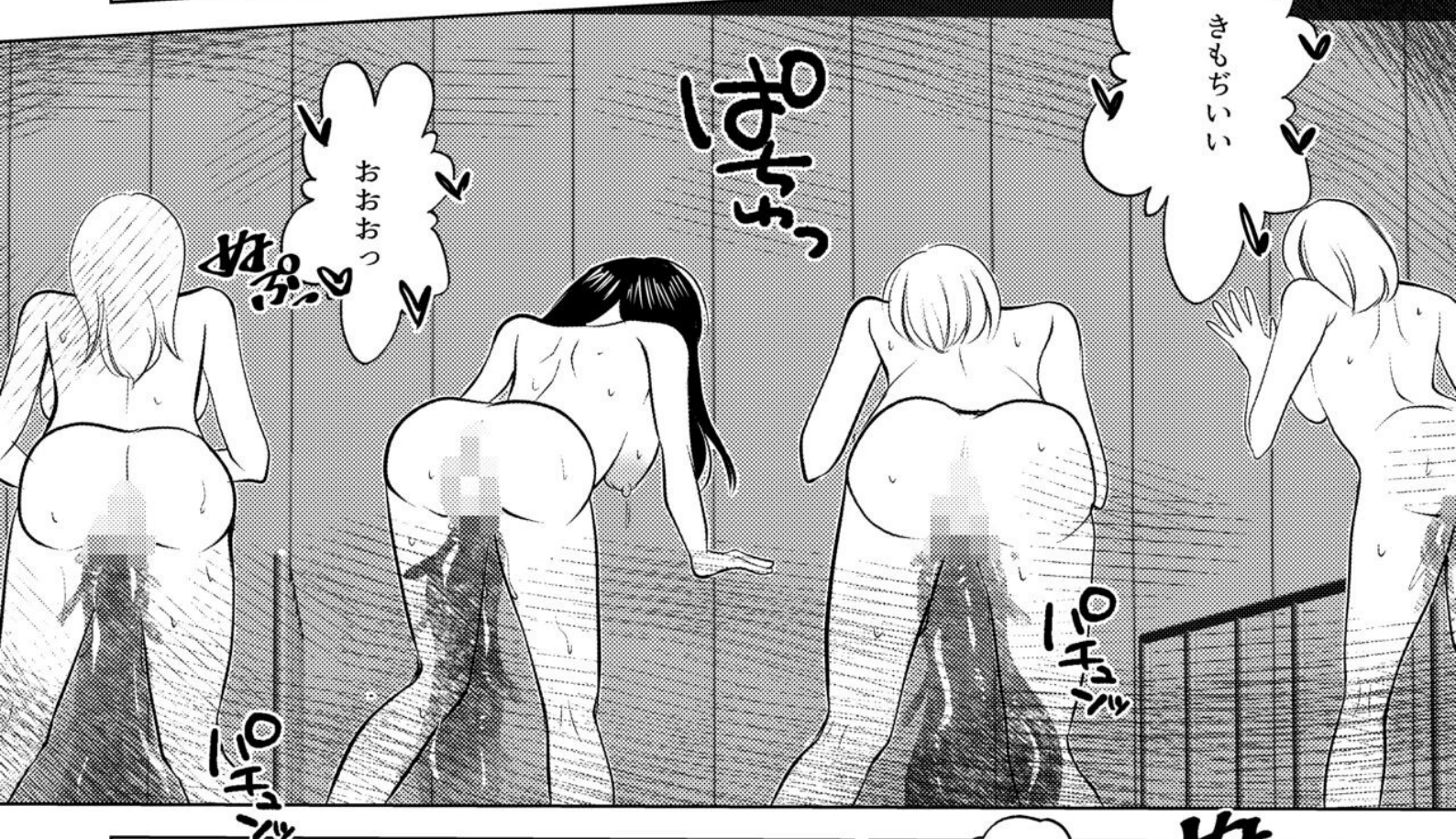


みんな
魔王様たちの苗床となって
気持ちよく
暮らしましょう









うふふ……

みんなこれからも
幸せに暮らせるのね

このウツボカズラタウンも
安泰だねっ



END